

プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

## 目 次

号 No	発行年月 日	主な記事	卓 話・投 稿
1号	1995.12.	趣味アンケート	
2号	1996. 1. 1		
3号	2. 1		
4号	3.14	RC10 周年と PC 設立披露	
5号	4.11		
6号	5. 9	移動例会「研修・市内史跡」	
7号	6.11		藤野/オウムの行方
8号	7.11		大野/八王子むかし昔
9号	8. 8		
10号	9.12		岩岡/卓話
11号	10.16		桂/モンゴル事情
12号	11.14	創立1周年記念例会	大友俊充講演
13号	12.12	移動例会、研修・南部地区	
14号	1997. 1. 8		平原/卓話
15号	2.13	生涯学習サロン	
16号	3.13	臨時総会	
17号	4. 9		桂/秘録「原子爆弾」34 年目の証言
18号	5.12		
19号	6.12		
20号	7.10	総会	
21号	8.21		大野/吾隣人皆吾師
22号	9.11	臨時総会	加藤/現役時代の思い出
23号	10. 9		米田/卓話、 濱野/人間処到有青山
24号	11.13		森下/卓話、 安藤/「ひりゅうず」のこと
25号	12.11	移動例会、研修・日光	立川/ドイツアマチュアオーケストラ訪問の旅
26号	1998. 1. 8		石井/卓話、 藤野/松井須磨子は歌がうまかったか
27号	2.12	新年会	岩岡/昨今の投手事情
28号	3.12		石井/会津八ーの日記より
29号	4. 9		大高/音を楽しむ
30号	5.14		松尾/さる山の可愛い住人たちに乾杯
31号	6.11	野外セミナー	北原/円通寺の借景
32号	7. 9	総会	野口/伊能忠敬に憶う
33号	8.20		井口/葉と私
34号	9.10	臨時総会	田子/無名戦士の墓・8月15日に想う
35号	10.08		平原/卓話、 平原/イタリアの”千人隊”
36号	11.12		土井/卓話、 桂/報道機関の責任
37号	12.10	移動例会、研修・恵林寺他	土井/魅力の花・椿
38号	1999. 1.14		杉山/RC と PC の関係、 宮崎/シュンペーター
39号	2.18	新年会、生涯学習サロン	野末/兵馬俑を見て
40号	3.11		中野/ゴルフと道具
41号	4. 8		
42号	5.13		大山/忘れられなくなった人
43号	6.10	野外サロン	大串/オランダ・ベルギーへ
44号	7. 8	総会	石井/ZAREGOTO
45号	8.19		野口/弓道を楽しむ、 (み)/大活字本のこと
46号	9. 9	石井)アンケート(1)尊敬する(好き	須藤/二つの故宮

## 目 次

		な)日本人	
47号	10.14	石井)アンケート(2)ちかごろ腹の立つこと	安藤・大山/卓話、 小林/電気の保安と責任について
48号	11.11		関戸・小林/卓話、 川口/中世以前の方が中国は近かった、 小阪/白砂糖の怖さ
49号	12.16	野外研修	(み)/七代目橘家円太郎-八王子の芸人(1)近藤/いち ょう祭りに参加して-未知の人との楽しい出会い-
50号	2000. 1.13		浜野・井口/卓話、 長町幸雄/ふくろう「梟」と私-趣味の効用実話-
51号	2.10		桂/高齢者のあるべき姿、 野口/国会議事堂と憲政記念館の見学
52号	3.09	生涯学習サロン	宮崎/卓話、近藤/随筆・良寛様を慕う、土井/最近読 んだ面白く、痛快さをも感じさせる二冊の本
53号	4.13	第1回南 RC・PC 合同懇親会	小原/ゴッホの絵と一念の歌
54号	5.11		岡田/卓話、広瀬/勤めを終えて
55号	6. 8	野外研修	渋谷/「支那」を考える
56号	7.13	総会	石井充/随想・プロとアマ
57号	8.10		長町/梟ドクター①アルコール、 石井寛/危機管理に思う
58号	9.14		長町/梟ドクター②一病息災、 松本/中国旅行見聞記
59号	10.12		近田・近藤/卓話、 長町/梟ドクター③・水とからだ、 吉田/間違いだらけの車選び
60号	11. 9		塩沢/卓話、 長町/梟ドクター④・生活習慣病と知っておきたい関連 用語、 向山/「三内丸山」を訪ねる-その 1
61号	12.14	南 RC15年式典	堀口/卓話 長町/梟ドクター⑤・脳卒中 向山/「三内丸山」を訪ねる-その 2
62号	2001. 1.11	神戸すずらん PC との交流研修	古川/卓話 長町/梟ドクター⑥”いわゆる”腰痛症 古川/師走に思う
63号	2. 8		RC 檜山 IT/卓話 長町/梟ドクター⑦・糖尿病(DM) 川津/至福のとき
64号	3. 8	臨時号、5周年の集い特集	渋谷/卓話 長町/梟ドクター⑧・かぜ 山下/八王子近在農家の自家製「しょうゆ」
65号	4.12		長町/梟ドクター⑨・生活習慣病としての虚血性心疾 患 石田/「年齢をとるということ」
66号	5.10	5周年式典	浅輪/卓話 小原/短歌 塩沢/人間と塩の関係
67号	6.14	サロン・アンケート	成田/成年後見制度とは何か(1) 田中/21世紀に・希望の桜
68号	7.12	総会	西志村/八王子の祭り考
69号	8. 9	臨時総会	成田/成年後見制度とは何か(その 2) 成田/くらしの法律相談(1)Q&A
70号	9.13		松尾/卓話 長町/梟ドクター⑩・結核-過去の病気からの見直し 成田/成年後見制度とは何か(その 3)
71号	10.11		田中博・石田/卓話

## 目 次

			梅木/趣味と人生 堀口/アウシュビッツ警見
72号	11.08		中野・田中寿/卓話 長町/梟ドクター⑪・知っておきたい消化器の素顔 成田/安楽死について 鶴田/シックハウス症候群について 成田/くらしの法律相談 Q&A(3)
73号	12.13	野外研修	岩岡/卓話 浅輪豊治・大高秀夫/雑感
74号	2002. 1.10		川津・下山・卓話 小山/「学校評議員」制度について
75号	2.14		長町幸雄/梟ドクター⑫消化器の診断と治療 北川/この頃思うこと 成田/くらしの法律相談 Q&A
76号	3.14		米林・長町/卓話 野口/セメントとコンクリート
77号	4.11		武田/卓話 長町/梟ドクター⑬肝障害—C型肝炎から肝癌への道程を睨んで！ 成田/くらしの法律相談 Q&A
78号	5.09		向山/卓話、 長町/梟ドクター⑭胃・十二指腸潰瘍—治療の最前線—
79号	6.13		長町/梟ドクター⑮加齢現象と疾病の病態—早わかり 佐々木/地図と私 矢崎/大使館勤務 成田/痴呆が始まったら補助制度を活用しよう
80号	7.11	総会	長町/梟ドクター⑯ストレスとからだの反応立川/音・音楽・音楽のような、
81号	8. 8	臨時総会	橋本/植木との付き合い 成田/あなたも被告にされるかも！
82号	9.12		加藤/卓話 成田/くらしの法律 Q&A(6) 大高/昭和 20 年 8 月 15 日 山崎/八王子から消えた精密機械の工場
83号	10.10		須藤/卓話 成田/くらしの法律 Q&A(7) 散骨の可否 下山/相対性理論の魅力 石毛/小野田夫妻の真摯な姿に学ぶ、
84号	11.14	研修(茶絵)	山下/卓話 成田/くらしの(8)時効の中断 阿部治子/だいに守っていききたい「五節句のこと」 小原/短歌「多摩川」他
85号	12.12	野外研修	成田/くらしの(9)お墓の継承者 岩岡/完全優勝とジックス 永井/光通信
86号	2003. 1. 8		廣瀬/卓話 成田/くらしの(10)貸金の催促 藤野/拉致事件の帰趨 徳永/私の履歴書「讃岐・・・」
87号	2.13		成田/くらしの(11)身元保証人の責任 大山/若者達と活動の場、
88号	3.13		大高/卓話 成田/くらしの(12)レストランからの持ち帰り 岡田/俺はまだ若いんだ！ 石井充/横町の話
89号	4.10		成田/くらしの(13)お嫁さんの相続

## 目 次

			加藤/干支について 川津/数学四方山話
90号	5. 8		成田/くらしの(14)遺留分て何 吉田/庭木の手入れ 中野/山梨県のミレー美術館が盛況であるポイント
91号	6.12	実施報告「親睦一泊バス旅行」	成田/くらしの(15)相続における寄与分 向山/ 往時茫茫 小林/電気の今昔
92号	7.10	総会	宮崎/自然が危ない 浅輪/いま子ども達はよく遊んでいるか
93号	8. 7		土井/日本人の宗教について
94号	9.11		秋山/卓話、
95号	10. 9		吉田/卓話 藤野/悪魔の弁護人とへそ曲がり
96号	11.13		橋本/卓話 平原/横浜プロバスクラブを訪ねて
97号	12.11	野外研修	石井實/高野山と観心寺参詣紀行(1)
98号	2004. 1. 8		北川/卓話 石井實/高野山と観心寺参詣紀行(2) 長町/人勢は暦年齢で判定できない
99号	2.12	ホームページ公開	長町/ガンの検診について想う(1) 野末/八王子の商い、
100号	3.11	プロバスだより 100号を記念して	野口/卓話 長町/ガンの検診について想う(2) 田子/カリフォルニア・ドライブス・ライセンス 武田/読書情報誌

◎第1回例会	日時	1995年11月9日 午後6時～9時
	場所	エルシィ八王子 4階ホール
	出席者	会員 31名 ビジター (八王子南R.C) 5名
	例会内容	司会：立川会員 開会挨拶：大野会長 来賓挨拶：増田南R.C会長 出席南R.C会員の紹介、挨拶 プロバス賛歌発表 会食・歓談(大道芸披露) しり取り漫画と1分間スピーチ テーマ『いま興味・関心を持っていること』 閉会挨拶：藤野副会長

## ◎興味をお持ちかして見たいことの集約(アンケート結果)

順不同

ハイキング	志茂 濱野 藤野 山田 大野(幸) 岩岡 田中 田淵	国内旅行	梅木 清水 田淵 北原 石井 平原 森下 志茂 立川
ゴルフ	志茂 濱野 北原 大野(聖) 田子 岩岡 加藤 大山	海外旅行	志茂 立川 北原 平原 清水 桂
社交ダンス	森下 藤野 梅木 清水	書道	田子 梅木 清水 田中
テニス	梅木 加藤	茶道	小町
スキー	濱野 石井	写真	石井 桂 田子
登山	藤野 石井 森	陶芸	田子 山田 桂
食べ歩き	米田	庭いじり	石井 大野(幸)
郷土史研究	大野(聖) 田子 山田 小町 田淵 森	盆栽	石井 加藤
史跡探訪	清水 桂 岡田 田淵 北原 田子 大野(聖) 小町 岩岡 森	俳句	志茂 大野(聖) 加藤 大山
囲碁	近藤 大野(聖) 平原 加藤 大野(幸)	吟詠	大野(幸) 田淵
将棋	田子	音楽鑑賞	立川 近藤 北原 平原 岩岡 清水
手品	大野(聖) 田淵	美術鑑賞	立川 田子 小町 岩岡 田淵
カラオケ	森下 志茂 藤野 梅木 米田 小阪 田中 岡田	観劇	田淵
		骨董品鑑賞	田子
		ドライブ	桂
		読書	森

## ◎幹事より

- 北原情報委員長のご努力で第1号ができました。これから第2号、第3号と号を重ねるにしたがって内容も、より充実したものになっていくことと期待いたしますが、これを進めていくのは情報委員のご尽力もさることながら、会員の皆様がこれに盛り込む取って置き「ネタ」を提供して下さることが一番だと思います。プロバスだより発行のお祝いを申し上げますとともに、今後の皆様のご協力を切にお願いいたします。

## ●郵便振替口座開設

このたび郵便振替口座を開設いたしました。今後の会費納入にご利用ください。  
口座番号—00150-7-42971 名称—東京八王子プロバスクラブ

## 編集後記

第1回の会報を作ってみました。これからも毎月、出席できなかった会員向けに、例会の中身とか、各委員会の活動状況、催し物のご案内、会員通信欄などを盛り込んで発行していきたいと思っております。

皆様から会員にお伝えしたい情報や、クラブへの提言などございましたら、どしどし事務局までお申し越してください。

## 明けましておめでとうございます

◎12月例会 日時1995年12月14日 12時30分～14時10分

場所 エルシィ八王子 4階ホール

出席者 会員27名 ビジター 4名(八王子南R.C.)

内容 司会：立川例会委員長 今月のテーマ『組織づくり』について

大野会長の開会挨拶で開会。冒頭「会員の委員会所属について、各自の希望を募った結果研修、地域奉仕の両委員会に希望者が集中したため、やむなく過日の役員会におきまして別紙のように決めさせて頂きました。ご希望に沿えない向きもおありかとは存じますが、今回の任期中はこの体制でお願いしたい」との発言がありました。

来賓増田八王子南ロータリークラブ会長のご挨拶の後、立川委員長の指導で『プロバス賛歌』の歌唱練習が行われました。

今例会では、各委員会毎にテーブルを別け、会食後各々の委員会が今後の委員会の持ち方や活動方針などを討議し、各委員長が所属するメンバーを紹介しながら、その結果報告を行いました。

終了予定時刻が若干過ぎたところで藤野副委員長の閉会の辞をもって散会しました。

◎各委員会の今後の活動についての打ち合わせ状況報告

★例会委員会 毎月の例には全員が出席してスムーズに運営されるよう、その準備、進行に委員みんなで努力する。また、他の委員会と協調しながら例会の内容の充実を図る。

★会員委員会 会員の増強と会員相互の親睦を深める企画をサポートする。当面会員増強の目標は適正な規模として、例会において最低一人が一回発言出来る範囲として40名程度(Max.50名)を目指したい。副委員長に大山委員を委嘱した。

★情報委員会 当面、会員同士がお互いを知ることが肝要と考え、このための情報の提供、差し当たってはアンケートによって、共通の趣味の集約を計り、これをベースに話し合いのキッカケをつくる。会員に役立つ情報の収集に努め、会報を発行して会員に伝達する。

★研修委員会 活動内容については現在検討中。委員長私案としては、1)月例会での会員による卓話。2)地域の文化・歴史・芸能等についての会員講師主導による見学、鑑賞会等の実施。3)同業種、同職種の会員によるフォーラム。4)趣味グループ活動の活性化。5)会員の専門知識・経験を活用しての相互扶助等を中心に研修活動を展開することを提案。

★地域奉仕委員会 メンバーの欠席が多く、十分な討議を行うことができず次回以降に持ち越しとなったが、委員長私案として、1)研修委員会と連携をもちながら会員以外も対象にした行動計画の作成。2)当面ダンスパーティー等を実施して収益を上げ、有効利用を図る。3)委員会内に野口会員を中心とした地域史研究グループをつくり、幅広く参加を呼びかける。4)校長経験者に依頼して教育問題に取り組む。

◎催し物

☆レバノン大使サミエル・シャンマ氏の講演(八王子南ロータリークラブ例会において)

日 時 1月17日(水) 12時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円(ロータリークラブれいかいに参加、昼食付)

申し込み 1月例会の際事務局へ

☆八王子南ロータリークラブ創立10周年のつどい(当クラブの披露が行われます)

日 時 2月7日(水) 15時30分受け付け開始

場 所 京王プラザホテル八王子宴会場 4F・5F

会 費 無料(八王子南ロータリークラブからの招待)

☆囲碁教室 八王子南ロータリークラブが行う女流棋士の指導による教室

日 時 2月14日(水) 13時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申し込み 参加希望者は大野会長までご連絡ください。(電話24-8110)

◎出版物

会員小町和義さん著『数寄屋の実践一番匠設計の30年』が住宅建築別冊・42として出版されました。

関心をお持ちの方は事務局まで。

◎お願い

毎月の例会には常にご出席ください。已むを得ず欠席される場合は化ならず事務局へ事前にご連絡願います。

『プロバス賛歌』のカセットができました。ご入用の方は事務局まで。一個100円で頒布。

◎2月例会のご案内

2月は7日「八王子南ロータリークラブ創立10周年のつどい」の中でプロバスクラブの披露が行われます。その関係で、2月例会を一週間繰り上げて2月1日(木)に開催の予定ですが、後日改めてご連絡致します。

## ◎1月例会報告

日時 1996年1月11日 午後5時～8時

場 所 富士森会館 3階宴会場

出席者 会員31名 ビジター 3名(八王子南R.C.会員)

内容 今回の例会は新年会を兼ねて行われたため、会員委員会が当番となって取り仕切った。

濱野会員委員長の司会で大野会長、増田RC会長の夫々年頭の挨拶で始まり、桂幹事より

- 1) 2月例会の開催日を繰り上げて2月1日に変更する。
- 2) 2月7日に八王子南ロータリークラブ「創立10周年のつどい」で八王子プロバスクラブの設立披露が行われるので会員全員の参加をお願いしたい。
- 3) プロバスクラブのバッジ图案とプロバス旗の紹介。
- 4) 地域奉仕活動の一環として生涯学習講座の開催についての大会会長の私案を提案。(概要については当日配布した別紙を参照してください。)

などの報告がなされた。

次いで北原情報委員長から会報について説明があり議事を終了し、RC会員の増田氏の発声で乾杯、宴会に移行した。

約2時間、会員相互の和やかな歓談とビンゴゲームを楽しみながらの宴会で、会を重ねたせいか会員間にも知己が出来て盛り上がった雰囲気終始した。

宴たけなわとなったが、予定した時間も過ぎたため藤野副会長の閉会の辞と一本絞めで午後8時、滞りなく散会した。

## ◎今後の予定

## ★八王子南ロータリークラブ講演会

日 時 2月21日(水) 午後6時～

場 所 エルシィ八王子

講 師 日本テレビ政治部長 菱山郁朗氏

会 費 3,000円(食事付)

申し込み 聴講希望の方は2月15日までに葉書で事務局まで申し込んでください。

## ★囲碁教室 八王子南ロータリークラブが行う女流棋士の指導による教室に参加できます。

日 時 2月14日(水) 13時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申し込み 参加希望者は大野会長までご連絡ください。(電話24-8110)

## ◎次回の例会

3月例会は3月14日(木)、場所、時刻はいつもの通りです、全員の出席を希望します。やむなく欠席される方は、必ず事前にご連絡下さい。

## ◎会報の充実についての提案(北原・桂)

プロバスクラブ紙の紙面で会員のプロフィールの紹介をしては如何かと思ひ提案いたします。

これまで機会がある都度自己紹介などの形で、皆様の過去、現在についてのお話を伺ってまいりましたが、時間などの関係で十分にお考えを伺うことができませんでした。

今、こうして同じ理想をもって結集した皆さんのお互いの人柄などをもっとよく知り合い、理解を深めることは、これからの活動にも役立つ有意義なことと考えます。

やって見たいこと、趣味のこと、家族のこと、楽しかったこと、腹の立ったこと等々、内容、形式にはこだわりませんので、是非事務局までお届けください。また、状況によっては面接取材をさせて頂いても結構です。

大野会長のご意見では50音順に掲載してはどうか、ということでした。



## ◎2月例会報告

日 時 1996年2月1日(休) 12時30分～14時05分

場 所 エルシィ八王子 3F 会議室

出席者 会員 27名 ビジター 2名 (RC会員 杉山氏、酢屋氏)

内 容 立川例会委員長の司会で開会、大野会長の挨拶の後、八王子南ロータリークラブ10周年記念行事について説明がなされ会食となる。

会食後議事に入り桂幹事から2月7日のRC10周年記念例会に於いて八王子プロバスクラブの設立披露が行われることに関し、出席の確認、集合時間、座席の確認、紹介の方法、記念品の授受者などの打ち合わせがなされた。次いで森下地域奉仕委員長から史跡散歩計画案(4月11日(休)、マイクロバスを利用して八王子の史跡めぐり、4月例会の代替)の提案があり実施の方向で了承された。

また、田子研修委員長から生涯学習プログラム推進計画案について説明がなされ、基本的に会員の承諾を得た。実施の時期・場所・方法等につき具体案をもって検討を進めて行きたい旨発言があった。尚、会員全員が参加するよう『お話し頂ける項目』『お手伝いいただける部門』につき調査の要請がなされた。

各委員会の現状についてそれぞれの委員長からの報告があった後、全員で『プロバス賛歌』を斉唱し、藤野副会長の閉会の挨拶で終了。

## ◎東京八王子プロバスクラブ設立披露

八王子南ロータリークラブ創立10周年記念行事の一環として執り行われた。

日 時 1996年2月7日(休) 16時30分～17時30分

場 所 京王プラザホテル八王子 5F 翔王の間

内 容 八王子南ロータリークラブ10周年式典、記念例会の挨拶の中で増田会長、杉山委員長からプロバスクラブの設立について言及され、大野会長が登壇して東京八王子プロバスクラブの発足を宣言、挨拶がなされた。

次いで大野会長から出席会員を一人ずつ紹介し、RCからプロバスクラブのバッジとクラブ旗の贈呈を受けて設立披露は無事終了した。

引き続き会員は第2部のアトラクション、第3部の祝宴、懇親パーティーに招待され、贈られたばかりのバッジを胸につけてロータリーメンバー、来賓などと歓談のひとときを過ごした。

顧みれば昨年10月18日に創立総会をもって産声を上げ、以来数回の例会を経て今日ここにチャーターメンバー33名で、クラブの存在を内外に示したことになる。従ってこれからは『高齢者が生き生きと活動できる場』としての当クラブを、その設立趣意に基づいて確かなものに育て上げて行く気概を持って、皆で邁進しようではありませんか。

## ◎会費の振込について

96年4月～6月の会費(9,000円)はお手元にお配りした郵便振替払込用紙で、なるべく早めに最寄りの郵便局から払い込んでください。(振込手数料は要りません。)

◎次回4月例会(11日(休))は八王子史跡めぐりです。別添の資料をご覧ください。

## ◎今後の予定

## ★八王子南ロータリークラブ主催八王子4クラブ合同講演会

日 時 4月10日(休) 午後4時30分より受け付け

場 所 エルシィ八王子 4F

講 師 テレビ朝日ニュースステーション キャスター 和田 俊氏

会 費 3,000円

## ★八王子南ロータリークラブ囲碁教室(女流棋士稲葉緑子氏が指導します。)

日 時 ●3月27日(休) / ●4月10日(休) 午後1時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 各回につき3,000円(参加希望者は大野会長まで)

◎臨時総会並びに3月例会報告

日 時 1996年3月14日(木) 12時30分～14時00分

場 所 エルシィ八王子 3F 会議室

出席者 会員 28名 ビジター RC 会長 増田 禎司氏)

★臨時総会 大野会長議長となり下記事項につき審議

内 容 理事1名退任に伴う新理事選出と会計監査1名欠員の補充選任の件

この度、森下理事が健康上の理由によって理事退任の申出があり、これを受けて森下理事の所属する地域奉仕委員会の中から野口会員を新たに理事・地域奉仕委員長として推挙したい旨議長から提案があり、満場一致で可決、続いて会計監査の任にあった山田会員が一身上の都合で退会されることになり、その後任として理事を退いた森下会員に新たに会計監査をお願いしたいとの提案がなされ、本件も満場一致で可決された。

尚、今回の臨時総会は理事の選出は総会の議決を要するとの会則第12条の規定に基づき開催されたもので、出席人数も28名と定足数を満たしている。

★3月例会報告

内 容 立川例会委員長の司会で総会に引き続き開催。

増田八王子南ロータリークラブ会長の挨拶の後、各委員会報告があり、特に田子研修委員長から4月11日の史跡めぐりのスケジュール等の概要について説明がなされた。

次いでその史跡めぐりでレクチャーをしていただく野口会員より各史跡の見学ポイントの概略についてお話しいただき、大変参考になった。

◎会費の振込について

96年4月～6月の会費(9,000円)は既に大多数の会員から納入されましたが、未納の方はお手元にお配りした郵便振替払込用紙で、なるべく早めに最寄りの郵便局から払い込んでください。

◎次回5月例会は5月9日(木)の予定です。

◎今後の予定

★八王子西ロータリークラブ創立30周年のつどいが開催されます。なるべく多くの会員の参加を希望します。

今年度テーマ

『次世代へ残そう、豊かな自然』

会 場 いちょうホール

日 時 6月7日(金) 受付午後2時～2時50分

第1部 記念式典 午後3時～4時

第2部 記念講演 「私の経営所感」

講師 山本卓真氏(富士通会長)

————— 会 場 移 動 —————

会 場 エルシィ八王子 4F

祝 宴 午後5時30分～7時

アトラクション

八王子フィルハーモニー管弦楽団弦楽部

ソプラノ歌手 田中三佐代

◎八王子南ロータリークラブ囲碁教室(女流棋士稲葉禄子氏が指導します。)

日 時 5月8日(水) 午後1時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申 込 大野会長まで

## ◎4月例会報告（移動例会）

日 時 1996年4月11日(木) 8時30分～17時00分

場 所 八王子の史跡めぐり

出席者 会員 24名 ビジター RC首藤氏)

内 容 今月は初めての移動例会ということで、マイクロバスを借り切り八王子の史跡めぐりを行うこととした。生憎季節外れの寒気に見舞われ花冷えというか寒い一日に終始した。

早朝、出発場所（エルシィ八王子）に小雨について集合、先き行きの天候を心配しながら定時にスタートしたが、以後は曇り空ながらも傘をさすこともなく無事に日程を消化することが出来たことは誠に幸いであった。

見学地 滝山城跡～桂福寺・明化学校～車人形稽古場（昼食）～八王子城跡～宗関寺（車中）～信松院～広園寺

今回は地域奉仕委員長の野口正久先生に講師をお願いしたが、見学の現地はもとよりバスの車中でも行く先々の史跡について詳細にまた懇切にレクチャーをして頂いたので参加した皆さんが、身近にありながらあまり知らなかった各史跡についての認識を深めることが出来たことと思う。また、前回の例会時に先生から頂いた『八王子の史跡めぐり』の小冊子がこの度の見学会に大いに資するところがあった。

見学先の車人形の稽古場では、四代目家元西川古柳氏から車人形の歴史、人形の操り方などのお話しをうかがい、さらに由緒ある広園寺では丹羽老師から寺の由来を主とした興味深い法話を拝聴するなど本当に有意義な一日を過ごすことが出来た。

ただ、藤野副会長が御母堂のご葬儀のため止むを得ず参加されなかったことは心残りのことであったが、今回の企画から実行まで大野会長、田子研修委員長、森下前地域奉仕委員長、新地域奉仕委員長野口先生には大変なお骨折りを頂いたことについて改めて心から感謝の意を表したいと思う。最後に参加した全会員がこの行事に大満足で、次回の企画に期待すると云う声があったことを付記しておく。

## ◎新入会員のご紹介

今月の例会から次の3名の方が入会されることになりました。

野末孝雄氏（八王子市追分町17-4 グリーンパーク西八王子1102 電話25-5554）

須田義次氏（八王子市小門町6-16 電話23-2480）

大高秀夫氏（八王子市諏訪町212-10 電話51-6961）

## ◎八王子西ロータリークラブ創立30周年記念環境チャリティコンサート「八王子高校吹奏楽部 特別演奏会」

日 時 6月1日 17時30分開場 18時開演

場 所 いちょうホール（大ホール）

入場料 無料 入場券を差し上げます。（ただし、満席のときは入場をお断りすることがあります。）

## ◎八王子フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会のお知らせ

日 時 6月2日(日) 13時30分開場 14時開演

場 所 いちょうホール（大ホール）

曲 目 ブラームス交響曲第3番ほか

チェロ独奏 沼尻邦夫

入場料 1,000円（入場希望者は立川会員まで申し出てください。）

## ◎八王子南ロータリークラブ囲碁教室（女流棋士稲葉緑子氏が指導します。）

日 時 6月12日(水) 午後1時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申 込 大野会長まで

◎次回の例会は6月13日(木)です。

## ◎5月例会報告

日 時 1996年5月9日(木) 12時30分～14時00分

場 所 エルシィ八王子 3F会場

出席者 会員27名+1名(ビジター RC 酢屋氏)

内 容 立川例会委員長の司会で定時に開会、大野会長の開会挨拶の後、新入会会員4名の紹介があり、北原情報委員長から先月の八王子史跡巡りの際のスナップ写真が出来上がったので回覧の上、希望者は備え付けの用紙で申し込むよう案内があり、更にそのとき立ち寄った車人形人形の稽古場で四代目家元西川古柳氏から車人形の話を知ったが、10月26日に五代目襲名披露公演があるので、興味をお持ちの方は早めに大野会長まで申し込むよう重ねて案内がなされた。(本件については別項で詳述)

会食、歓談の後先に紹介された4名の新入会員からそれぞれ自己紹介があり、続いて各委員会の報告がなされた。

今回の例会より会員の内から講師を選び卓話形式で30分程度の持ち時間でそれぞれのキャリアを生かした話をするようになったが、これは先に大野会長から提案のあった『生涯学習プログラム推進計画』を取り敢えず例会時に会員だけを対象に行うことから始めてみようと言うもので、第1回の今回は藤野副会長が『オウムの行方』と題して堅苦しい法律の話を変に面白く興味深く講演された。尚、次回は大野会長の『八王子昔むかし』について卓話を頂く予定。

定刻になり桂幹事の開会挨拶をもってお開きとなった。

## ◎新入会員のご紹介

前号に住所、電話番号は掲載しましたので、この号ではそれぞれのご経歴、ご趣味を紹介します。

氏名	生年月日	現 役 時 の 主 な 経 歴	趣 味
須田義次氏	大正 8.12.19	八王子市役所 建設、都市計画、下水各部長	囲碁
野末孝雄氏	大正 15. 6. 4	追分商店会会長	写真、史跡探索、音楽鑑賞
大高秀夫氏	昭和 8. 8. 3	東京トヨタ自動車(株) 八王子営業所長	社交ダンス、ゴルフ、音楽鑑賞、合唱
井口 禎氏	昭和 8. 9. 15	日本フィルコン(株)取締役技術開発部長 常勤監査役	ゴルフ、庭いじり、音楽鑑賞

## ◎車人形襲名披露公演

日 時 10月26日(土) 午後6時開演

場 所 いちょうホール

入場料 3,000円

## ◎サマーコンサートのご案内

出 演 八王子フィルハーモニー合唱団、管弦楽団弦楽部

日 時 7月6日(土) 開場 午後6時30分 開演 午後7時

場 所 いちょうホール(大ホール)

入場料 無料(ただし整理券が必要)

曲 目 「旅」 合唱組曲

「人を偲う」 故石井 光団長追悼作品集より

「思い出」 映画音楽特集

## ◎八王子南ロータリークラブ囲碁教室(女流棋士稲葉緑子氏が指導します。)

日 時 7月10日(水) 午後1時30分～

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申 込 大野会長まで

◎次回、新年度第1回の例会は7月11日(木)です。皆さんご出席下さい。

◎「One Two えいと」のご案内  
(八王子のコミュニティー・チャンネル)  
八王子市民の手によって作られる  
コミュニティー誌です。  
お手元に配布してある本誌をご覧下さい。

季刊(年間4回発行)

購読料年600円

購読希望の方は大野会長まで。

## ◎6月例会報告

日 時 1996年6月13日(木) 12時30分～14時05分

場 所 エルシィ八王子

出席者 会員 25名+1名(ピジター R.C. 酢屋氏)

内 容 立川例会委員長の司会で定刻に開会。

大野会長開会宣言の後会食、歓談。1時より議事に入り、7月以降の新年度の会の運営等について大野会長から提案がなされた。即ち「知り合いを広め、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する」というプロバスクラブの目的に沿った事業を展開する。これには全員が企画の段階から参加できるような事業にしたい。そのためには各委員会内の委員同士の話し合いの機会を増やし交流を深める必要がある。さしあたっては正副会長、幹事が加わった委員会を6月中にそれぞれ開催して欲しいという要請があり、併せて新年度定時総会を7月例会時に開催したいという提案がありました。

藤野副会長から6月7日に開かれた東京八王子西ロータリークラブ創立30周年のつどいの内容についての報告があり、引き続き各委員会報告がなされた。また、濱野会員委員長から、多くの会員の要望によって、プロバスクラブの統一した名刺を作ることにしたが、その裏面に、このクラブはどのような会なのかを一般に分かって貰えるようなブリーフィングを入れること、その文章を会員間で検討して貰いたい、ということと、新入会員が4名増えたことにより、各委員会のメンバー構成を多少変更したことの報告があった。

今回の卓話「八王子むかしむかし」は大野会長が、現在没頭されている研究テーマに関わる内容の一部を、細かい資料を提示しながら講演された。

定刻、全員でプロバス賛歌を合唱、藤野副会長の閉会挨拶で終了した。

◎新たに石井 充氏、川津鉄礼氏の2名が入会されました。所属委員会は下表の通りです。

◎新年度委員会構成(◎は委員長、○は副委員長)

例会委員会	◎立川、○松尾、安藤、小阪、小林、志茂
会員委員会	◎濱野、○大山、古川、井口、大高
情報委員会	◎北原、○岡田、大野(幸)、岩岡、田淵
研修委員会	◎田子、石井(實)、梅木、杉田、平原、米田、加藤、石井(充)
地域奉仕委員会	◎野口、野末、須田、大串、小町、清水、森下、田中、川津

※今後新入会員の所属委員会は、入会時に役員会で決定します。

## ◎会費納入について

7月から新年度となりますので、前期会費(1996年7月～12月)18,000円を例会時にご持参いただくか、または、お配りした郵便振込用紙で郵便局から振込み頂くか、どちらかで早めに納入してください。

## ◎車人形襲名披露公演

前号で紹介しました10月26日(土)いちょうホールで開催される西川古柳襲名披露公演には、大野会長のご尽力で良い席が確保できますので、ご希望の方は、本例会終了時に会長までお申し込みください。

## ◎八王子南ロータリークラブ囲碁教室(女流棋士稲葉禄子氏が指導します。)

日 時 8月14日(水) 午後1時30分～&lt;予定&gt;

場 所 エルシィ八王子

会 費 3,000円

申 込 大野会長まで

## ◎次回の例会は8月8日(木)です、皆さんご出席ください。

クラブの経費を軽減するために、一々事前に葉書で通知することはやめますが、毎月第2木曜日は決まっていることなので、通知がなくてもご出席願います。ただし、日程に変更がある場合のみ通知します。

欠席の方は必ず担当例会委員または事務局まで連絡してください。

## ◎ 7月例会報告

日 時 1996年7月11日(木) 12時30分～14時00分

場 所 エルシィ八王子3F会議室

出席者 会員 24名+2名(ビジター R.C. 増田、酢屋氏)

内 容 立川例会委員長の司会で定刻に開会、新年度最初の例会となるため会則によって定例総会となる旨を宣言。

会食後増田RC直前会長及びRC酢屋会員の挨拶があり、続いて新入会員石井 充氏の自己紹介がなされた。

定例総会では藤野副会長が議長に指名され議事に入ったが、まず大野会長から別紙内容の通り1995～1996年事業報告があり、引き続き1996～1997年事業計画案が提案され全員異議なく承認された。

1996～1997年予算案については若干の質疑の後提案通り承認された。尚、前年度決算報告は幹事欠席のため次回例会に持ち越すことを了承され総会は終了定例会に移行。

定例会では各委員長より新年度事業計画に基づく各委員会の報告がなされた。

●例会委員会:今回から例会への出席者を確認するため例会委員会に所属する会員がそれぞれ分担して連絡網を作り、全会員に電話で連絡をとって出席率の向上を計りながら、無駄な経費を省くための努力をしているので協力していただきたいとの要望があった。

●会員委員会:本年12月までに会員数を45名以上を確保したい。そのためには全会員が優秀な人材を推薦して欲しい。

●情報委員会:これまでの会員のみを対象とした情報の提供を一步進めて外部に対する情報活動、特にスポンサーでもある南ロータリークラブとの連携を緊密にして、相互の講演会、催し物等に互いに参加出来るよう情報交換をすること、また、毎月発行する会報を充実したものにする事と、近々発足を予定しているセミナーについては情報面での万全を図る。

●研修委員会:当面は例会の際の卓話を継続しながら、前回好評を博した史跡巡りのような野外研修の開催、これに加えて新年度事業計画の柱とも云うべきライフセミナーに向けて準備を進める。

●地域奉仕委員会-ライフセミナーの開催に最重点をおき、執行部と研修委員会との緊密な連携のもとにその成功に力を注ぐ。

以上で各委員会の報告を終わり、全員でプロバス賛歌を合唱し、藤野副会長の閉会の挨拶で散会した。

## ◎ 10月例会について

10月の例会日がたまたま体育の日と重なるため変更されることとなりますが日取りについては未定です。

## ◎ 新入会員石井 充氏について

生年月日 昭和5年6月10日生まれ

住 所 八王子市横山町16-7

現役時の主な業務 塗料販売店経営(現在この経営のバックアップ)

趣 味 音楽鑑賞、読書(日記出版物)、町歩き(中でも横丁の)

そ の 他 中、高教員資格(社会<歴史>)

抱 負 先輩の方々の後について自分の出来ることを探して見たい。

◎次回の例会は9月12日(木)です、皆さんご出席ください。

### ◎8月例会報告

日時 1996年8月8日(木) 12時30分～14時05分  
場所 エルシィ八王子 3F会議室  
出席者 会員31名 ビジターR. C. 榎本会長  
内容 立川例会委員長の司会で定刻開会。

会食後大野会長の開会挨拶に続き、南ロータリークラブの榎本新会長が登壇、会長就任の抱負と今後のロータリークラブの事業計画を発表、これらの催しにプロバスクラブ会員の積極的な参加を呼び掛けられた。次に前回持越しとなった前年度決算報告が桂幹事より費目毎に詳細な説明がなされ、森下会計監査人から監査の結果、相違ない旨報告があり承認された。つづいて各委員会からの報告、連絡事項の伝達があり卓話の時間となる。

今回は『美術四方山話』と題して岩岡会員から深い知識と豊かな経験に基づいた美術品の鑑賞の仕方などの話を大変わかりやすく丁寧に話された。

懸案となっていた『プロバス賛歌』の歌詞のうち第二節の出だしの『望みなくしたこの国を』を修正する件について幾つかの提案がなされたが一番賛同の多かった『平和かかげてこの国を』に変更することになり、早速この歌詞で全員で合唱、藤野副会長の閉会の挨拶で解散。

### ◎新入会員 土井俊玄(どい しゅんげん)氏が紹介されました。

- ◇生年月日 昭和10年10月15日生
- ◇住 所 八王子市千人町1-2-8
- ◇現役時の主な業務 相模原市公立中学校長 現在 寺院住職
- ◇趣 味 動植物飼育栽培、音楽鑑賞
- ◇そ の 他 教育免許(国語、社会科)
- ◇抱 負 背伸びせず自然でやっていきたい。教育相談的なことなど出来れば

### ◎10月例会について

次回10月例会は八王子プロバスクラブ創立一周年記念例会となります。たまたま定例の第二木曜日が体育の日と重なりますので下記の日時で開催いたします、お間違いのないようお願いいたします。

日時 10月16日(水) 午後5時開会  
場所 エルシィ八王子 3F会議室  
・式典 PM5:00～5:25  
・記念講演 早稲田大学教授 大友俊允先生 PM5:30～6:30  
・会食 PM6:40より  
・閉会 PM8:00  
・会費 3,000円

尚、当日は臨時会費を徴収する予定にしておりますので予めご了承下さい。

### ◎八王子南ロータリークラブ囲碁教室(女流棋士稲葉禄子氏が指導します。)

日時 10月9日(水) 毎月第二水曜日  
場所 エルシィ八王子  
会費 3,000円  
申込 大野会長まで

### ◎11月例会は14日(定例の第二木曜日)に移動例会として史跡巡りを検討しておりますのでお含みおき願います。

## ◎ 9月例会報告

日 時 1996年9月12日(木) 12時30分～14時

場 所 エルシー八王子 3F会議室

出席者 会員30名 ビジターR・C酢屋氏

内 容 立川例会委員長の司会で定刻に開会。会食を済ませたところで大野会長から来月の一周年記念例会の持ち方についての説明と八王子南ロータリークラブの夜間例会(9月25日に憐丸紅の伊藤 宏氏の講演会)へのご案内を盛り込んだ挨拶があり、各委員会からの報告事項に移る。

- 情報委員会：当面の連絡事項は配布のプロバスだよりに記載、会費等の集金事務は今後当委員会のメンバーで担当する。プロバスだよりの紙面充実のため会員各位の協力を要請。
- 会員委員会：土井氏の入会報告。会員増強のため各委員会単位での候補者の推薦を依頼。
- 研修委員会：秋季移動例会について各自に配布したスケジュール(案)の詳細説明と参加人数の確認。
- 地域奉仕委員会：上記移動例会のバックアップと来年に予定されているセミナー開催へ向けて検討を進めている。
- 例会委員会：例会出欠の確認の励行と欠席時の事前連絡の徹底を要請。次いで野末会員から土井新会員の紹介があった後、桂幹事から7月に旅行されたばかりの『モンゴル事情』についてパネル写真をつかって歴史、産業、食生活などさまざまな分野をホットな観点からスピーチされ、会員に深い感動を与えた。  
続いてビジターの酢屋氏から八王子南R・Cが企画した『若人の出会い“A' Meeting”』に協力頂きたいとの依頼がなされた。  
定刻となり全員で『プロバス賛歌』を合唱、藤野副会長の閉会挨拶をもって終了。

## ◎ 11月例会について

11月例会(移動例会)は史跡探訪です。

日 時 11月14日(木) 午前8時30分(雨天決行)

集 合 JR八王子駅南口 多摩信用金庫前

経 路 永林寺→東京都埋蔵文化センター→小泉家屋敷→「絹の道資料館」  
→東京工科大学→片倉城跡公園の順でマイクロバスで訪問。

会 費 3,000円(この他昼食費自己負担)

※10月例会にて会費を徴収させていただきます。



### ◎創立一周年記念例会報告

日 時 1996年10月16日(水) 17時～20時45分

場 所 エルシー八王子 3F会議室

出席者 会員31名 ビジターRC会員 7名

#### 第一部 記念式典

北原情報委員長の司会で開会、藤野副会長の開会の言葉の後全員でプロバス賛歌を斉唱、大野会長よりプロバスクラブの一年間の歩みを中心に挨拶があり、続いて八王子南ロータリークラブの榎本会長のご挨拶を頂く。ここで八王子南ロータリークラブから助成金が榎本同クラブ会長より大野会長に贈呈された。その後来賓挨拶に移り、八王子ロータリークラブの創立10周年記念事業実行委員長をつとめられ当プロバスクラブ誕生に多大な尽力を頂いた 杉山様、当クラブ創立の準備段階時のロータリークラブ会長として大変お骨折りになられた 橋本様、そしてついこの間まで八王子南ロータリークラブ会長で当クラブの発展に身近に寄与頂いた 増田様の順でご祝詞を賜り、最後に再び藤野副会長の閉会の言葉で式典を終了した。

#### 第二部 記念講演

講 師 大友俊允氏 早稲田大学大学院教授、玉川学園大学教授

テーマ 『21世紀の日本と世界』

田子研修委員長より大友先生のご紹介があり、先生から人口動態、環境汚染、微生物、バイオ関連など各種の観点からスライドを使ってテーマに沿ったお話を1時間45分にわたり講演された。

野口地域奉仕委員長が謝辞を述べ第二部を終了。

#### 第三部 祝宴

浜野会員委員長の司会で開幕、南ロータリークラブの酢屋氏のご挨拶を頂いた後、同クラブの梶原幹事のご発声で乾杯、会食となる。暫く歓談を交わしたところで会員全員が一人ずつ立って自分の名前、所属委員会、プロバスクラブに対する抱負を一分の時間内で話す、所謂一分間スピーチを行なった。宴たけなわの中、予定時間を大幅にオーバーした20時45分南ロータリークラブ増田宿会員の終宴ご挨拶と手じめの音頭をもって盛会の内にお開きとなった。

### ◎12月は通常例会です。

12月12日(第二木曜日) 12時30分 エルシー八王子 3F会議室です。

### ◎恒例の八王子いちょう祭りが来る11月23日・24日に行なわれます。

皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

## ◎ 11月例会報告（移動例会）

日 時 1996年11月14日（木） 8時30分～16時15分

場 所 八王子南部地区

出席者 会員 24名

今回の例会は第2回目の移動例会と言うことで八王子の南部地区の史跡、施設などの見学会として行なわれた。寒い朝定刻の8時半前に出席者が全員集合、さすがにプロバスメンバーは時間を厳しく守ることを実証。立川会員が親戚にご不幸が来て急に欠席、その連絡のためわざわざ集合場所まで顔を出される。バスは定刻に出発、立川委員長が不参加のため田子研修委員長が例会委員長代行も勤める忙しさとなり、車中大野会長のご挨拶を頂戴しながら最初の見学地である下柚木の永林寺へ。ここは滝山城主大石定久所録の寺で野口地域奉仕委員長のレクチャーを受けて三門、大石氏の墓など手入れの行き届いた境内を拝見。次に多摩市の東京都埋蔵文化財センターにバスを進め、同所で縄文中期出土品見学と遺跡庭園『縄文の村』を散策した後、鍵水の小泉家屋敷に向かう。この屋敷は都教育委員会から重要文化財に指定されている養蚕農家で小泉家に伝わる古美術品と共に当主の小泉栄一氏の説明を頂きながら見学。その後場所を近くの『絹の道資料館』に移して再び小泉氏から鍵水商人の歴史についての講話を拝聴、資料館を見学する。午後1時近くなったところで次の予定先である東京工科大学に到着、学生食堂で各自それぞれ好みの昼食を済ませた後、古賀総務課長のご案内でキャンパス内の教室、研究棟、多目的ホールなど施設を見学。広大な敷地に繰り広げられた最新設備の整った施設や、良く整備された庭園といい我々の学生時代とは今昔の感を抱かせる立派なキャンパスである。最後は片倉城趾公園で野口先生に解説を頂き城趾を見学して無事全行程を終了、出発場所の八王子駅南口に帰り解散。寒い朝ではあったものの日中は陽も射して風もなく、この時期としては誠に穏やかな天候に恵まれ絶好のアウトドアー例会日和であった。

この度の移動例会に際し会長はじめ研修、地域奉仕両委員長には種々とお骨折り頂き特に田子委員長には見学先の現地検分や打ち合わせなど大変ご苦労されたことを付記して置きます。

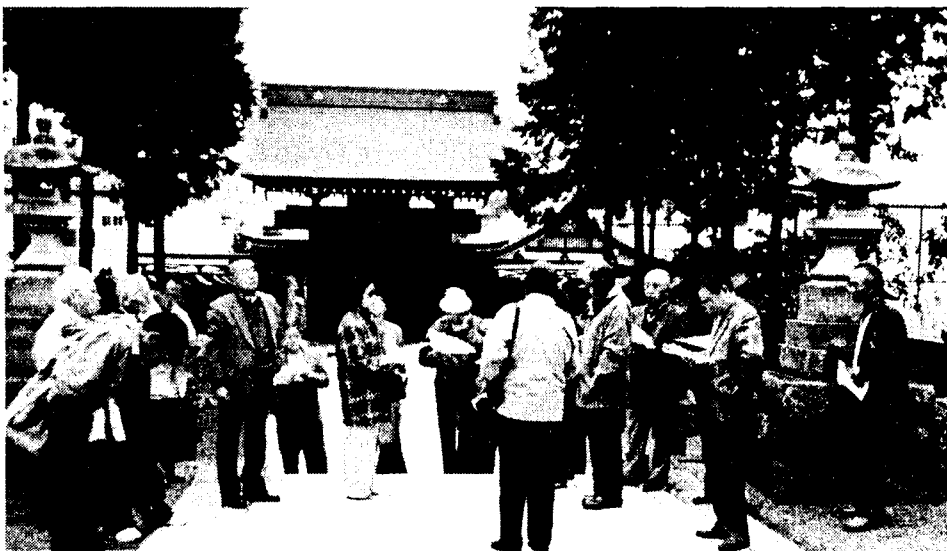
## ◎ 次回例会 1月9日（木）PM 6時より

場 所 八王子市三崎町6-11 マロウドイン八王子

会 費 5,000円

1月例会は新年会を兼ねた夜間例会となります、会費は当日徴収させていただきます。

永林寺にて



## ◎12月例会報告

日 時 1996年12月12日（木） 12時30分～14時  
場 所 エルシィ八王子 3F会議室  
出席者 会員 27名  
内 容

立川例会委員長の司会で定刻に開会、会食の後大野会長の開会挨拶に続き会員の平原俊彦氏の卓話を拝聴する。『レコード音楽の周辺』と題して同氏が30有余年日本コロムビア（株）に勤務されたキャリアに基き、大江光さんの作品など、なかなか普段は聴けないテープを流しながら興味深く話された。

さて、当プロバスクラブの本年度の最重要事業と言える『プロバス生涯学習サロン』の推進について討議が持たれた。先ず野口地域奉仕委員長からこのサロンの目的と運営、更には講座内容等の推進計画案が説明され、続いて田子研修委員長より講座、セミナーの具体的中味、運営委員、サロン開催日等サロンの運営要領（案）について詳細な報告がなされた。最後に大野会長から本件は会員全員の協力で何としても成功させたい旨発言があり全員拍手で賛同した。

## 委員会報告

例会：例会出欠の事前確認の徹底

会員：会員数増加の目標は未達ながら現在4名の候補者の推薦が口頭である

情報：先月の移動例会の写真の申し込受けとビデオの希望者への貸出

研修： ” の収支報告

地域奉仕：生涯学習サロンの成功に向け全力投入

以上で例会打合わせ事項を終了、『プロバス賛歌』を全員で斉唱して定時に閉会。

## ◎新会員紹介

	◇鈴木幸雄氏	◇中野義光氏
生年月日	S7.10.8日生	S10.1.1日生
住 所	八王子市東浅川町293—1	八王子市めじろ台3—39—6
現職時の	S.M.Hジャパン（株）	八王子商工会議所事務局長
経歴	取締役ロンジン事業部長	オリックス（株）
趣 味	ゴルフ、将棋、美術鑑賞	ゴルフ、テニス、油絵
抱 負		地元の方と懇親をもちたい 地域社会に奉仕したい

◎次回例会は2月13日（木）です。この例会では恒例の卓話を取り止め、いよいよ月末から始まる『プロバス生涯学習サロン』の成功に向けて全員で準備、打合わせをすることになっておりますので、出来るだけ多くの会員の出席をお願い致します。

## ◎1月例会報告

日 時 1997年1月9日(木) 18時～20時30分

場 所 マロウドイン八王子 2F宴会場

出席者 会員 32名 ビジター酢屋RC会員

## 内 容

今回の例会は新年宴会を兼ねて行われた。総合司会は立川例会委員長が勤め開会挨拶に続き議事に入る。大野会長の挨拶、来賓としてご出席の酢屋ロータリークラブ会員のご祝詞を頂いた後今回から出席の新入会員の紹介が行われた。先ず北原会員の推薦で鈴木幸雄氏が、次いで桂会員から推薦された中野義光氏がそれぞれ自身の経歴、趣味それに本会に対する抱負等を話された。(尚、出席予定の河津鉄礼氏は欠席)

各委員会から報告があって議事は終了、第二部の宴会に移行した。

ここからは浜野会員委員長が進行役となり藤野副会長の発声で乾杯が行われ会食懇談に時を過ごした。宴たけなわとなる中、多くの会員が自分の席を立ち他のテーブルの会員に酒を注ぎながら談笑する光景が随所に見られ、ますます宴会は盛り上がっていった。その間余興としてカラオケが用意されかなりの会員が自慢の喉を披露したのも今回が初めての試みであった。

定刻となり桂幹事の閉会挨拶を以て終了、余韻を残しながら解散となる。

## ◎委員会の活動状況について

ご承知のように当プロバスクラブには例会、会員、情報、研修それに地域奉仕の5つの委員会があり、会則で全会員がいずれかの委員会に所属し活動することになっております。そこで、それぞれの委員会がどのように運営されているかを知って頂くことも肝要かと存じ、この会報の紙面で各委員会の活動状況をご報告して行きたいと思っております。

今回は会員、情報の両委員会を取り上げました。

**会員委員会** メンバーは●浜野、●大山、古川、大高、井口(●は委員長、●は副委員長)の5名で構成。新入会員の募集、資格審査及び会員相互の親睦、交流を図りプロバスクラブの拡大、活性化に寄与すべく活動しております。

現会員数40名、会員増強のため新会員の推薦をお願いいたします。

**情報委員会** メンバーは●北原、●岡田、岩岡、大野(幸)、田淵の5名で毎例会終了時に30分程度の時間で委員会を開いています。会報(プロバスだより)の編集打合わせ、八王子南ロータリークラブや他の委員会との連携、協力、会の広報担当部門としての役割特にこの処は『プロバス生涯学習サロン』の対外的なP.R等を議題として活発に意見の交換を行っております。

尚、新会員の鈴木幸雄氏には情報委員会、中野義光氏には地域奉仕委員会に所属して頂くことになりました。

◎いよいよ今月27日(第4木曜日)から『プロバス生涯学習サロン』が始まります。今年度、当クラブの最大プロジェクトだけに是非成功裡に終わらせたいと思っておりますので会員の皆様の絶大なご協力をお願い致します。



# プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第16号

編集・発行：情報委員会  
1997.3.13

## ◎2月例会報告

日時 1997年2月13日(木) 12時30分～14時5分  
場所 エルシィ八王子 3F 会議室  
出席者 会員 32名 ビジター榎本、梶原、酢屋の各R.Cメンバー  
内容

会食後、八王子南ロータリークラブ榎本会長よりご挨拶を頂く。その中で正月例会に出席出来ず新年のご祝詞が今日迄延びてしまったことのお詫びとプロバスメンバーが若々しく澁刺と活動されていることが大変喜ばしいとお話がなされた。ここで会則の改訂のため、臨時総会に移行する旨、司会の立川委員長から発議があり、大野会長が議長に選出されて議事に入る。議長の指名で桂幹事から会則第7条を従来の『会費 月額3,000円とする。』から『会費等 月額3,000円とし、入会金として10,000円を納付する。』に改訂したいとの提案がなされ、審議の後満場一致で可決し総会は終了した。(この規定は3月1日入会会員から適用)引き続き例会に移り大野会長が挨拶の中で今月27日から始まる『プロバス生涯学習サロン』について会員全員の一致協力を強く訴えられ、田子研修委員長からサロン運営のスケジュールや役割分担の説明がなされた。その後セミナーの助言者と司会者の打合せがそれぞれのペアリングで綿密に行われ、改めて大野会長よりサロンの実行マニュアルについて再度徹底がなされた。北原情報委員長から今回の講演、セミナーの内容を記録に留めて置くため助言者、司会者のいずれかが責任をもってセミナーの概要を情報委員会に報告されるべく要請があった。続いて野口地域奉仕委員長から助言者、司会者のセミナーでの役割を例示をされながら解説された。ここで前回欠席された新入会員の河津鉄礼氏の紹介とご本人の挨拶があり、定刻となった所で『プロバス賛歌』を斉唱、藤野副会長の閉会の挨拶をもって終了した。

## ◎新会員紹介

塩沢 勉夫 氏

生年月日 昭和11年4月1日生 住所 八王子市大和田町2-5-29  
現職時の経歴 立飛企業(株) 経理部長、工場長 関係会社代表取締役  
現在 子ども会活動(22年) 八王子子ども学園長 八王子青少年委員  
趣味 ゴルフ、ハイキング、詩吟  
抱負 多くの諸先輩にご指導を頂きながら少しでも自分自身の人間性にプラスして行きたいと存じます。

## ◎委員会の活動状況について

例会委員会 メンバーは●立川、●松尾、安藤、小阪、小林、志茂の6名。

本委員会は委員一同二つの目的に向かって努力しています。一つは例会出欠を100%把握すること、手分けして例会3日前より電話出欠を問い合わせます。ぜひご協力下さい。まだ100%に届きません。二つは会員相互が交流出来るように例会の席を毎回変えています。例会中出来るだけ顔、名前を覚えて頂いてお話を下さるようお願い致します。

◎プロバスだよりも毎回報告事項に終始して来ましたが、次号からそろそろ会員の感想文やご意見などを掲載して行きたいと考えております。皆様のご投稿をお待ちしています。

# プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第17号

編集発行：情報委員会  
1997.4.10

## ◎3月例会報告

日 時 1997年3月13日（木） 12時30分～13時30分

場 所 エルシィ八王子 3F会議室

出席者 会員35名 ビジター酔屋R.C会員

### 内 容

今月の例会は後に『プロバス生涯学習サロン』が控えているため30分時間を短縮して開催された。25分間の会食の後、立川委員長の司会で大野会長の開会の挨拶で始まり田子研修委員長からセミナーの参加人数の均等化を計るためプロバス会員の第一希望を変更して頂く、ご了解を得たい旨発言があり個々の変更について説明された。ついで野口地域奉仕委員長より講話、セミナーの資料提出について、講話資料は90部、セミナーの資料は出席人員プラス5部を用意すること、またセミナーの助言者は資料を自身で準備するか、事務局に依頼するかの確認がなされた。続いて北原情報委員長から今回のサロンの記録を集大成するため各々のセミナーに於ける記録責任者の指名があり、浜野会員委員長からサロン参加者の中からプロバスメンバーを希望する方の取扱いについて説明がなされたところで例会は終了、全員で『プロバス賛歌』を斉唱し藤野副会長の閉会の言葉で締め括った。

◎訃報 かねてより病氣ご療養中の梅木道助会員が3月25日逝去されました。3月27,28日に通夜、告別式が営まれましたが、会則に慶弔規定がありませんので持ち回り幹事会で会として一万円の香典をおそなえすることを決め、これに大野会長個人での盛花の献上と併せご霊前に捧げました。ここに改めて同氏のご冥福を心よりお祈りする次第です。

◎前回お知らせしましたが、今回から会員各位の投稿欄を開設いたしました。第一回は桂さんのお話を別紙にて掲載いたします。

## 秘録「原子爆弾」34年目の証言

この報告書は1945年8月8日、広島に原爆が投下された2日後に発表された、現地の生々しい報告書です。当時私たちは新聞、ラジオの報道で広島に「新型爆弾」が落とされたということを知りましたが、あれほど惨いものとは想像もできませんでした。

たった一発の原爆で広島や長崎が焦土と化したことを思えば、近代の戦争がいかに一般市民にまで惨禍をもたらすものかを痛感させられます。

たまたまこの正月の休みに亡義兄（海軍軍需管理官・海軍大佐）の遺品の中からこの報告書のコピーを見つけましたので、その要点を抜粋してみました。 (桂 元二)

**広島に原爆調査に関するわが国最初の報告書として、かねて注目されていた幻の旧海軍極秘文書が、三宅博士の努力で34年ぶりに初めて公開された。**

## ●呉鎮報告書（広島空襲調査概要）

（軍極秘）呉鎮第396号

昭和20年8月8日 呉鎮守府指令部

「8月6日広島空襲被害状況調査報告書概要」

呉鎮調査団

団長 呉廠火工部長 海軍大佐 三井再男

以下 砲こう実験部及び火工部々員 12名

## 1. 一般状況

0816頃広島市一般に亘り帯黄の光を見ると同時に熱気を浴びたる感を覚ゆると共に家屋倒壊するを見、次いで火災発生せり。これに先だち敵大型機3機、小型機1機尾道を脱去せる後南東より広島市に入り機関を止めたるまま進行せり、この時警戒警報解除せる直後なり。敵機市街中央部に入りたる時、落下傘3個の投下を見たり、また大型1機は旋回降下の姿勢をとれりと云う、この直後に爆発生起せり。

## 2. 被害状況

(イ) 爆心 護国神社南方300m

敵弾発火は高度約550m

(ロ) 爆風の影響

爆心付近、相生橋の変電所鉄骨甚だしく折れ曲がる。紙屋町南大楠1本根こそぎとなる。電車脱線向きを変える。爆心より半径500以内、内臓露出せるもの多数あり。

退避壕にして丸太掩蓋あるものは大部分有効なり。

爆心より1.8km 人間全裸となる。(屋外)

戦時住宅(半地下式)異常なし。

日本家屋全壊圏 半径3km。

硝子破損 東 向洋より稍東

西 草津一二日市

北 可部

南 不明

) 約7km

爆心より2km 防空壕内異常なし。

(ハ) 火傷

火傷を受けたる範囲は一般には爆心より半径2kmなるも稀には3kmもあり、火傷は痛み少なく、水ぶくれす、市役所、鷹野橋付近にては耳に圧を感じず爆心方向のみ火傷す。

国防色、サージ服下の皮膚のみ火傷せし服に異状なきものあり(爆心より2km)

即ち火傷状況は特異にして大部分は輻射熱に依る全面的のもの如く遠距離に於いては焼夷剤(?)による斑点的のものなり。

(ニ) 焼夷性

藁、紙は直接着火す。

己斐付近にて焼夷剤(所々に)付着し消火は油脂に比し困難なりしと云うものあり火災は一般には爆発後約10分以後に発生せり被爆時着火燻りいたるものか漸後発火したものと及び倒壊家屋の火の不始末に依ると認む。

山火事は爆弾の飛散物ならん。

(ホ) 特異現象

爆発後濃厚なる灰白色の煙発生上昇し次に2個に分かれ上方は白色に薄桃色を帯び下方は灰色なり。

1時間後観音町付近の観測にては黒雲を発生し雷あり約30分間夕立ちの如き黒き雨あり。

3. 対 策

(イ) 敵弾(今回被害は敵投下弾なること明かなり一発火を目視しあり、市内に爆発漏斗孔なし)、本体は不明なり、但し7日朝「サイパン」放送は米本国より太平洋方面へ「ウラン」爆弾100個を送り、その最初の1個を広島に使用せりと云う。

之が本体を国内各部結集し至急探究する要あり。

(ロ) 見張りを厳にし警報は適切なるべし。

(ハ) 少数機にても侮るな。

(ニ) 丸太掩蓋の防空壕に入れ、素掘りならば毛布を被れ、防空壕なければ直ちに伏せよ、屋内に居るな、眼と耳とを覆え、防空服は露出部を少なくせよ。

(ホ) 人員(生産に関係なき)物件の疎開を行うこと。

(ヘ) 本教訓を至急各部に通知すること。

(ト) 本形式の小型爆弾による焦土戦術に備えること。

4. 特殊爆薬の研究

(イ) 超爆烈原子(U235)に関する研究は日本に於いては東大(理研)、仁科(陸軍)、京大荒勝研究室(海軍)にて行いあるも純学理の範囲を出でず、米国にては5年ほど前U235を分離し基礎的研究をなし(水の温度を数度上昇せしめた程度)ありし後発表せざるも原礦石(ピッチブレンド)を盛んに集めつつありし情報あり研究陣も強力なる故研究促進せられしやと想像す。

(ロ) 夕弾形式のものを空中炸裂せしめ破片、爆風を集中地上に放射する企ては2火廠に於いて小型実験をなし相当有効なることを確認しあるも実用に至らず。

(終)



## ◎4月例会報告

日 時 1997年4月10日（木） 12時30分～13時30分

場 所 エルシィ八王子 3F会議室

出席者 会員32名 ビジター増田、酢屋R.C会員

## 内 容

開会に先立ち司会の立川例会委員長より先日逝去された梅木道助会員のご冥福を祈って黙禱を捧げようとの提言があり、全員で黙禱。

会食後、大野会長が挨拶に立ち『プロバス生涯学習サロン』が会員全員の協力で順調に進行しており、また、参加のサロンメンバーからもご好評を頂いている。今後も此のサロンが成功裡に終了するよう重ねてお力添えを頂きたい。それとこの度の梅木会員のご逝去に際して会則に規定が無かったので、会長の独自判断で弔意を表したが、慶弔規定を速やかに会則に盛り込むべく検討して行きたいとの発言があった。

次いで立川会員から先日入会された塩沢勉夫氏を紹介、同氏から入会の挨拶がなされた。田子研修委員長から5月8日に実施される『八王子探訪』についてスケジュールの説明があり、情報、例会の両委員長より連絡事項の報告がなされた。続いて来賓の増田八王子南ロータリークラブ前会長よりプロバスクラブの活発な活動、とりわけ『プロバス生涯学習サロン』の精力的な取り組みに賛辞を頂いた後、プロバス賛歌の斉唱、藤野副会長の閉会の挨拶を以て終了した。

OKYO HACHIOJI  
JAPAN

『プロバス生涯学習サロン』始まる

## ◎5月例会報告（移動例会）

日 時 1997年5月8日（木） 9時～17時30分  
場 所 八王子市南部の新街区、学園等  
出席者 会員 30名 サロン会員 38名

今回の例会は現在開催中の『プロバス生涯学習サロン』の郊外講座に合流して行われた。気象情報がメイ・ストームが吹き全国的に大荒れの日となるだろうとの予報を出していて、先行きが心配されたが、風こそ強かったものの終日傘の世話にもならず、無事日程を消化することが出来たことはご同慶の至りであった。

見学地／ みころも公園～南大沢ニュータウン～山野美容芸術短期大学～東京工科大学（昼食）～みなみ野シティ～日野自動車21世紀センター（コーヒーブレイク）～広園寺  
前回、移動例会で同じ八王子南部の史跡巡りを行っていることもあり、成るべく重複は避けようと、研修委員会が大変ご苦勞をされて、今回は21世紀の八王子を見据えて、新しい街づくりが進められている処や学園都市に相応しい大学キャンパスを重点に探訪する上記のコースを企画された。みころも公園、広園寺では野口地域奉仕委員長から史跡について、また、小町会員から建築様式について夫々懇切なレクチャーをして頂いた。その他の場所では係の方の施設のご案内や説明があり有意義に一日を過ごすことが出来た。

## ◎プロバス生涯学習サロンについて

2月27日の開講式で始まり4回の講話、セミナーと市内探訪、そして5月22日の閉会式で今回のサロンは無事に終了した。開催に当たり当初案じられた参加者数も読売新聞、市の広報、情報紙ショッパーに掲載された記事を読んで応募された方、何よりもプロバスメンバーの熱心な勧誘で参加された方などで最終的には58名の参加を見る事が出来たことは誠に喜ばしい次第。また参加者の感想もアンケートを集約した結果、概ね好評で、大部分の方が早くも次回開催を希望されている状況で、このような成功を見る事が出来たのも大野会長を中心にプロバスメンバー全員が一致協力して事に当たり努力されたからで、ここに各位のご尽力に心から感謝申し上げる次第です。

# プロバスだより

東京八王子プロバスクラブ

第20号

編集・発行：情報委員会  
1997. 7. 10.

## ◎第3回定期総会並びに6月例会報告

日 時 1997年6月12日（木） 17時～20時  
場 所 なか安 3F 会議室並びに宴会場  
出席者 31名 ビジター R.C 酢屋氏

開会に先立ち浜野司会者の提案により先日逝去された故梅木道助会員に対する黙祷が行われた。

1) 開会 藤野副会長 開会宣言

2) 会長挨拶 大野会長

3) 議長、書記及び議事録署名人選出

司会者に一任され議長に大野聖二、書記に岩岡茂之、大山泰、署名人に野末孝雄、米田昭の各氏がそれぞれ選出された。

4) 議事

### ①1996～97年度事業報告

議長より1995年度発足よりの経緯と当該年度の活動内容について別紙に基づく報告がなされた。

特に竜崎プロバスクラブ設立について詳細に亘る報告が行われた後、『紫陽花の色さまざまに 宴かな』と心境を折り込んだ句を披露された。

### ②規約改正案審議

藤野副会長より 1) 会則第9条の改正（役員の数に関する件）

2) 運営細則第9条及び第10条の削除

3) 運営に関する申し合わせ事項の確認（役員の再任に関する件）

について提案があり（いずれも別添資料参照）全員異議なく承認された。

### ③1997～98年度役員選出

藤野副会長より次年度の理事、会計監査候補者の提案があり、全会一致で承認され、直ちに新役員の互選が持たれ下記の通り役員の担当が発表された。

会 長	藤野 豊	地域奉仕委員長	北原 満夫
副会長	野口 正久	研修委員長	加藤 寛
幹 事	立川富美代	情報委員長	平原 俊彦
幹事補佐	岡田 尚	会員委員長	大高 秀夫
		例会委員長	松尾信一郎

会計監査 桂 元二

会計監査 清水 里子

④新年度運営方針 別紙内容で藤野新会長より説明があった。

### ⑤ " 予算案審議

尚、当年度決算案は6月末の年度終了後、改めて提案することで了承された。

以上で議事を終了した。

（裏面につづく）

5) 来賓挨拶 南ロータリークラブの酢屋会員から『ロータリー活動は義務ではなく特典であるという考え方、高齢化社会とは高齢者4~5人で若者1人を育てるのが本義』との挨拶をいただく。

最後に野口地域奉仕委員長の閉会の言葉で総会は無事終了した。

引き続き例会に移行、先ずプロバス賛歌を全員で斉唱し、大野会長、藤野副会長、桂幹事、野口、北原、浜野、立川、田子各委員長の順で任期満了に伴い夫々簡単な挨拶が行われた。

例会終了と同時に場所を宴会場に移し懇談会が持たれ、酒を酌み交わし、料理に舌鼓をうって和やかに談笑しながら20時お開きとなる。

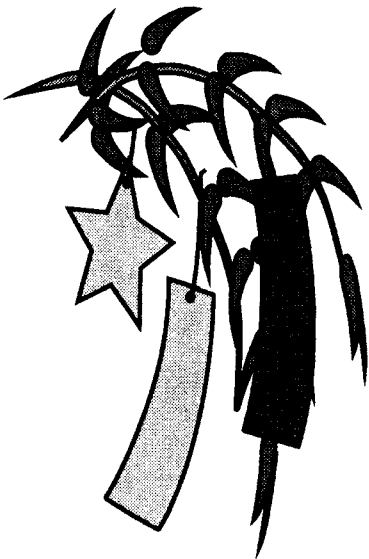
————— ∞ —————

本号まで北原前委員長以下旧情報委員会のメンバーにより作成していただきました、次号より新委員会により発行いたします。よろしくご協力の程お願いいたします。

◎平和祈念 『浅川とうろう流し』 主催/平和祈念・浅川とうろう流し実行委員会

7月19日(土)PM6時30分より 小雨決行

参加料 一灯1,000円 申し込み・問い合わせは立川幹事まで、7月18日まで受付け致します。



## ◎7月例会報告

日 時 1997年7月10日

場 所 エルシィ八王子 3F会議室

出席者 会員 38名 ビジター 八王子南ロータリークラブ前会長榎本氏、副会長酢屋氏  
〔議事〕

1. 大野前会長挨拶 クラブがこれまで発展して来たことの会員の貢献に対する御礼と今後藤野新会長を中心にクラブが一層拡大するように会員の活躍を望む主旨のお話があり、終わりに当たって

「つとめ終え 心は晴れて戻り梅雨」

の一句を披露された。最後に新会長に会長バッジを引き継いで挨拶を終わる。

2. 来賓挨拶 南ロータリークラブ榎本前会長より大野前会長への任期満了に当たってのねぎらいと、今後の藤野会長、立川幹事のコンビに期待する旨のお話あり、南ロータリークラブ井上会長の代理として酢屋副会長よりRI(国際ロータリークラブ) 会長の言葉をひきながら今後ロータリークラブが進む方向などについてお話があり小詩の朗読を以て終った。
3. 会長挨拶 運営方針については既に先月の総会において発表済みなので、その施行具体策について委員各位の意見を徴した上で説明したい旨のお話あり。また過日行われた生涯学習サロンについてアンケートを実施する主旨の話あり、その際は率直に思った通りを記されたいとの要望がなされた。次に新年度の委員会所属案について説明あり、委員長は全員重任することなく又委員も一遍に代ることはないが、徐々に代わって皆が年々順次異なる体験をして行く方が望ましいので、案もその主旨に沿って作ってある旨お話があった。
4. 委員会所属案決定 配布された案につき上記の説明あり、定員数につき質問あり、定員数にはこだわらず進めたい旨の回答他、特に異議なく原案通りに決定された。
5. 新入会員紹介(向山、近藤、山下3氏)

向山、山下氏出席 全員に紹介された。尚3氏の略歴など以下の通り。

むかいやま

## ∴向山光春氏

大正14年4月1日生

現役時の経歴

農林中金にて施設、経営資金の供給、貸付

奉仕活動歴

民事調停委員(8年)、立川簡易裁判所勤務

趣 味

読書、ゴルフ

抱 負

「現役時の垂直思考、限定された世界での発想から脱し、より豊かな世界を探りたい」と言う入会の動機を裏りあるものとなるよう努力し、それを通じて地域社会に貢献出来るものと思う。

## ∴山下安雄氏

昭和5年8月7日生

現役時の経歴

山下正油醸造場、山下商店 代表取締役

現 在

心臓疾患(軽度)の治療のためのウォーキング

趣 味

ゴルフ(現在中止中)、野球観戦

抱 負

「従来は仕事に全てと言う生活で、世の中の事を知らず又これから離れたら『ヒマ』と言う時間の恐ろしさにおののく昨今です。この忙から閑への落差をどう埋めて行くかの知恵を諸兄に御教示頂きたく入会をお願いした次第です」

## ∴近藤泰雲氏

たいらん

昭和7年11月19日生

現役時の経歴

都立各高校(八王子高綾他)の事務長、全国公立高校事務長会の調査、研究、総務の各部長

現 在

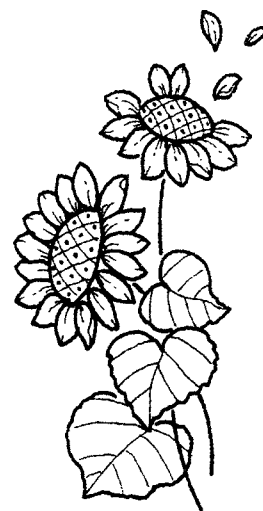
曹洞宗僧侶、茶道教授

趣 味

草笛

抱 負

「プロバスを通して日頃お世話になって居ります。当地域に少しでもご恩返し出来ればと思っています。」



6. 幹事報告 立川幹事より以下の点説明あり

- 1) 会費は7～12月を前期、1～6を後期として、原則として期の初めの例会の折り徴収する。
- 2) 幹部への連絡先は藤野、立川両氏宅へ  
藤野 TEL (0426)36-4567  
FAX (0426)32-7229  
立川 TEL/FAX(0426)22-9476
- 3) バッジ紛失の方は1ヶ¥1,000にて再交付、新会員は無料交付。
- 4) 本日配布の名簿は仮のものにつき、訂正点あれば指摘して下さい、次回正式の名簿を配布いたします。
- 5) 例会時の紙バッチは新しいものを次回配布。
- 6) 次回はエルシィが休みに当たるため8月21日(木)に実施します。
- 7) 新委員による会合をそれぞれ次回役員会の前迄に実施すること。
- 8) 前回の例会欠席者の資料は幹事の所に保管してあります、該当の方は各自もらって下さい。

7. アンケートの回収

3. で触れたアンケートを会終了時に回収した。

尚、議事終了後 新委員による小打合わせが行われ副委員長の選任、会合の日時、場所などの検討がなされた。

以上をもって例会全て終了した。

◎お知らせ

先日の生涯学習サロンの開校式から終業式までをビデオに収録してあります。ご希望のかたは幹事迄お申し出下さい。貸し出し致します。

吾隣人皆吾師



大野 聖二

八王子は関東平野と関東山塊に接し、街の西には山なみが展開していて、この中でキューピー山ともよばれる大岳山は古くから信仰の対象になっていました。その奥に重なる山々の溪流を集めた多摩川は、東京都を縦断し生活用水の供給源となっていたのです。

多摩川の上流部分は溪谷となって、その景勝のゆえに作家や、芸術家がこの辺りに居を構えました。吉川英治記念館は、「鳴門秘帖」や「宮本武蔵」「親鸞」「私本太平記」などで、大衆文学を国民文学のレベルに上げた吉川英治さんが、昭和19年から10年ほど住まれて「新平家物語」を執筆された建物です。

吉川さんの好きな言葉に「皆我師」が在ります。私の記憶では、最初は「吾隣人皆吾師」と表現していたと思います。この言葉を実感としてとらえたのは、昭和41年八王子西ロータリークラブの会員にいただいた時です。まだ30名ほどの会員でしたが、商工会議所会頭をされた落合さん、高尾山の山本山主、その他八王子の産業、経済、精神面等でリーダーシップをとっていた人たちがばかりで、最初のうちはすべてが勉強でした。

一昨年、プロバス設立準備会のおり、その時に似たような感じを持ち、新しい期待に心が躍りました。この時メンバーの知識と経験を生かすためには、単に学習するという事より、お互いを師として、ともに学びあうセミナー方式こそ、もっとも効果的な事業ではないかと思い、生涯学習サロンの発想が浮かびました。

家庭の事情で小学校も卒業出来なかった吉川さんが、隣人を師として歴史上の人々の心を見事に表現した作品は、読者の心をとらえ、記念館には、文化人として最高の栄誉である文化勲章が展示されています。この吉川さんが、さらに謙虚に「山川皆吾師」から「我以外皆我師」と、揮毫されるようになり、この言葉が記念館に展示され、テレフォンカードにもなっています。

私たちも、過去は過去として、これからはすべての人々の良さを認めあいつつ、絶えず成長の糧を求めて生きていきたいと思ひます。

## ◎8月例会報告

日時 1997年8月21日

場所 エルシィ八王子 4F会議室

出席者 会員 33名 ビジター 八王子南ロータリークラブ元会長増田氏、副会長酢屋氏

○議事に先立ち会員の志茂源次氏が8月20日逝去された旨報告がなされ、会員一同黙祷を捧げた。享年64才、なお、クラブとして生花をお出しする旨報告もなされた。

### 〔議事〕

#### 1. 臨時総会開催

前年度決算、本年度予算承認のための臨時総会が例会に先立って行われる旨提案あり、藤野会長を議長として開催された。

イ) 決算については桂幹事から説明あり、通常経費以外に前年度は学習サロンに関する費用の発生があり、その分の予測出来ず、予算とは大幅な差が出た旨報告あり、森下監査より資金の動きと決算報告とは全く一致しており相違ない旨の報告がなされ承認された。

ロ) 本年度の予算については立川幹事より、本予算は既に6月総会において一度承認されているが、繰り越し金も確定、又南ロータリークラブよりの助成金も同様決定したので、再度予算を上程したい、なお学習サロンについては特別会計をもって処理したい旨の提案がなされ承認された。

#### 2. 会長挨拶

志茂さんのお悔やみを述べたあと、ご自身の例をひきながら会員一同呉々も健康に留意し、お元気で社会に貢献して欲しい旨のお話あり。

#### 3. 来賓挨拶

南ロータリークラブ増田元会長よりクラブ発足より逐次会員が増加している事は誠に喜ばしい。今後新会長の元で益々発展を望みたい。歌舞伎も役者が変われば芝居も変わる。二代目会長により一層の活性化を期待する旨のご挨拶があった。同クラブ副会長酢屋氏より、映画「ブラザー・サン・シスター・ムーン」の中の歌から「慰められることよりも、慰めることを、愛されることよりも、愛することを・・・」の詞をとり上げて、その精神で今後活動して欲しい旨のお話があった。

#### 4. 新入会員紹介

前回都合で出席されなかった新入会員 近藤泰雲氏（前号にて略歴紹介済み）が今月出席されたので田子委員より紹介があり、ご本人より挨拶がなされた。

#### 5. 各委員会報告

イ) 北原地域奉仕委員長：先ず学習サロンをより一層成果あるものとしたい、についてはそのための委員会を9月4日に行い、早めに準備し、12月メドに計画を作成する心算である。

ロ) 加藤研修委員長：月例会には卓話を実施（9月米田氏、10月森下氏の予定）移動例会は11月に（日光の予定）、来年は学習サロンへの参加を中心に計画する。

ハ) 平原情報委員長：プロバス便りを一層充実したい、今月より委員各位より随想などの文章をお願いし、交流の一助としたい。又情報収集のため例会の際「情報ボックス」を設ける。先日の学習サロンアンケート結果報告。

## 現役時代の思い出



加藤 寛

定年退職後8年、現役時代の懐かしい思い出がよみがえって参ります。職場は運輸省の船舶技術研究所で、船舶に関する総合的な研究です。仕事は主として研究室で行う試験研究で、実船に乗船して行う実船実験もあり様々なテーマに取り組んで参りました。行政機関の研究所の特徴はその時代の社会的ニーズに対応したテーマが求められる訳で、大学や会社の研究機関とは異なりいろいろな問題と取り組みその結果を早期にまとめる事が望まれるわけです。従いまして、船体外板の防蝕、船内排水の油水分離機の開発、タンカー事故による流出油回収対策、ディーゼル・エンジンの代替燃料の研究等々小規模試験を含めると手掛けたテーマは数えきれぬものがあります。試験、研究の結果がそのまま実船に採用された場合には喜びもひとしおですが、初期に想定した結果が得られず大変苦勞した思い出も多く残っています。そんな中で今でも懐かしく思い出させるのが、アメリカ航路のコンテナ船による実船実験で太平洋を横断パナマ運河をわたり大西洋を北上ニューヨーク往復した体験です。機会がありましたら20年前をふりかえってみたいとおもいます。

- ニ) 大高会員委員長：メンバーを逐次増加させたい、当面の目標として50名を考えている、今後新会員は申し込み後会員委員会審議の上、理事会で承認を得るので日数的に2ヶ月程期間を要するのでよろしく。
- ホ) 松尾例会委員長：最近出欠席がキチンと行われていることは喜ばしい、今は事前に連絡をしているが、出席は会員の義務なのだから、いづれなくして行きたい。

#### 6. 幹事報告

- イ) 志茂氏の葬儀について詳細に話あり、通夜、葬儀当日は会員の皆様に多数ご参加いただきました。
- ロ) 予算計上の南ロータリークラブよりの助成金、7月23日に会長と共に同クラブに赴き、戴いてきた旨報告あり。
- ハ) 八王子の通信紙「東京速報」にわがプロバスクラブについて大きな記事が出ているのでコピー配布の上、その件報告あり。



## ◎9月例会報告

日時 1997年9月11日  
 場所 エルシィ八王子 3F会議室  
 出席者 会員 34名 ビジター 八王子南ロータリークラブ酢屋副会長  
 〔議事〕

## 1. 会長挨拶

イ) 志茂氏の告別式には会長他出席、遺族より感謝のご挨拶があった旨報告あり。  
 ロ) 南ロータリークラブより連絡あり、同クラブよりの助成金を予算では168.000円としたが、前年通り200.000円に変更するとの由連絡有り、先日立川幹事参上して差額を追加拝領した旨お話があった。尚、同差額は予算計上が間に合わないので雑収入として処理することとした。

## 2. 来賓紹介

上記酢屋氏を一同に紹介

## 3. 卓話「少年院あれこれ」米田会員

神戸の事件以来特に話題となっている少年院についてその概要、現状などにつき色々とお話がなされた。少年は可塑性に富み余命も長いことから、対象となる少年に対し保護処分優先とし、健全な社会人として生きてゆくための生活指導を重視して職業補導などを実施している。全国で54ヶ所、収容者数も約3,800名を現在数えている、等々多くの面から例を引きながら卓話がなされた。

## 4. 委員会報告

イ) 研修委員会：加藤委員長より今後の各月の実施予定につき説明がなされ、併せて11月実施予定の野外研修につきアンケートが実施された。  
 ロ) 地域奉仕委員会：北原委員長より本年度実施予定の学習サロンにつきその実施要項の資料配布の上説明がなされた。  
 ハ) 情報委員会：平原委員長より上記学習サロンにつきそのテーマ、講師、助言者の設定のための参考アンケートが実施された。



## 人間処到有青山

濱野幸雄

私は八王子に生まれ育ったが、学校を卒業する時が就職難で、何故か自分の選んだ学科に求人が少なく、たまたま東京近郊に適当な職がなく、学校の薦めで関西に本社のある呉羽紡績(株)(現東洋紡績(株)橋本龍太郎首相も私の2年後に入社)へ入社する事となった。関西の人には大変失礼な言い方だが、当時としては都落ちの心境を味わった。以来定年で退職するまで36年間、途中で合併、工場閉鎖等等曲折はあったが、製造現場一筋に働いてきた。海外勤務2回(9年)を含めて10回の転勤と20回以上に亘る転宅を重ねて、夫々の土地で沢山の人間に巡り合い、お世話になり、そして支えられてきた。その間の色々な境遇においても、いつも私を支えてきた好きな言葉として、僧清狂の詩がある。

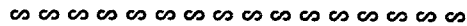
「男子立志出郷関 学若無成不死還 埋骨何期墳墓地 人間処到有青山」

月性が詩に詠んだ心境とは相当に異なっているが、私には青山は勝手にどこにでも有るのではなく、自らが自分に相応しいように努力して築いて行くものだとして解釈してきた。だから今までどこの土地で生活しても、その気持ちを持ちつづけて乗り越えてこられた。

今、再び定年を期に終の住処を八王子に求めて、仕事でのつながり、今まで築きあげた交友関係をも離れて新しい生活を始めた。40年振りの八王子は故郷とはいえ往時とは異なり、まさに一からの出発であり、地域に馴染む事の難しさを経験した。幸いにして積極的に地域に参加する意欲もあり、転居後の早い機会に自治会三役を経験したり、コミュニティ活動、公開講座等に参加したりして地域に馴染む努力をつづけた。また、プロバスクラブには、準備段階から参画させて頂き素晴らしい人達に巡り合い、私にとって新鮮な刺激となった。この様に自ら飛び込んでいく事によって、自分の中にだんだんと青山が広がりをもって築かれていくように思われる。

## 5. 幹事報告

- イ) 10月15日(水) 南ロータリークラブの会合において菱山恵三郎氏の「八王子市の草花」の講演があります。
- ロ) 先月の資料、欠席の方は幹事迄取りに来られたし、用意してあります。
- ハ) 今9月よりエルシーと相談の上、会食の内容につき変化を加えました、各自賞味されたし。



### ◎八王子フィルハーモニー管弦楽団定期公演のお知らせ(第19回)

- 日 時 / 平成9年11月9日 開場1:30pm 開演2:00pm
- 会 場 / いちょうホール 大ホール
- 曲 目 / フランク 交響曲ニ短調  
ブルッフ ヴァイオリン 協奏曲 (Vn)西野優子氏 他
- 入場料 / 1人 ¥1,000 全席自由
- 申込み / 立川幹事まで

## ◎10月例会報告

日 時 1997年10月9日 12時30分  
場 所 エルシィ八王子 3F会議室  
出席者 会員 35名 ビジター 八王子南ロータリークラブ酢屋副会長  
〔議事〕

1, 会長挨拶 会長ご自身の最近のカルチャークラブでの以下の受講内容を紹介された。

- ①ポピュラー音楽を聞く、他力的行動
- ②多摩の街道をゆく 自主的行動
- ③ワイン講座 出席者の7割が女性であることに驚く  
この結果については後日報告するとのお話があった。

## 2, 来賓紹介

上記酢屋氏を一同に紹介

## 3, 新入会員紹介

新たに入会された宮崎浩平氏が全員に紹介された。同氏の略歴以下の通り

『宮崎浩平』氏 昭和11年8月17日生、八王子市大横町14-20在住

現役時の経歴 日立クレジット(株)東京営業本部、営業部長・OA統括部長

現 在 大横町町会長

得意な趣味 バトミントン

クラブへの貢献 (推薦者・岩岡茂之氏より) 宮崎家は大横町の旧家として知られ、浩平氏はそこで生まれ育った生粋の八王子っ子である。地域への知識が豊富であり、あらゆる部門で活動出来る要素をお持ちである。

## 4, 卓話「フィルム製造法」森下会員

日頃手にし、又目にする「フィルム」について我々は多くを知らない。40年間フィルム製造に携わって来た同会員によってフィルムの需要、写真の歴史、フィルムの製造法について図をもって種々解説された。今後写真、フィルムについて我々の関心は一層深くなると思われる。



## 『ひりゅうず』のこと

安藤美代子

いつのことでしたか高尾の山あいの料亭で食事をした時、懐石料理をいただきました。その料亭ではお料理をだす時に必ずこれはやまめの塩焼きとか、燕の柚子みそ等説明がありました。その中で『ひりゅうずの煮物でございます』とがんとどきの煮物が出ました。大変なつかしい言葉を聞きましてうれしい思いを致しました。幼い頃母にひりゅうずを買いに豆腐屋へお使いをたのまれた事を思い出しました。でも今は『ひりゅうず』が『がんとどき』と同じと知っている人は少ないと思います。

それでどうして『がんとどき』が『ひりゅうず』かと大変興味がありまして調べてみました。それは『がんとどき』を油で揚げる時はねて竜の頭のようになるので『飛竜頭』になったそうです。昔の人の発想の豊かさとユウモアに拍手です。

もうひとつ料理に必要な『だし』をみますと普通は昆布、かつおぶし、にぼし、しいたけなどを煮てうまみを出した出し汁の事。内にあるものを外に移動させ現れるようにすること。『だし』が出すのは内にある『うまみ』というわけだそうです。

台所にて

## 5, 幹事報告

イ) 最近物故会員などあったが現会員の総数は42名である。

ロ) 郵政省サービスの一環として今度中高年向けパソコン教室(八王子シニアネットクラブ)を一週間一回11月初旬より開講する事となった。日程は確定次第連絡するが当クラブ会員を先ず推薦するので参加を期待したい旨大野会員ともどもお話があった。

(本教室はその後11月5日より発足し、プロバス会より14名の入会があった。)

ハ) ロータリークラブ会報「ロータリーの友」に当方の学習サロンが掲載された。同会報はロータリークラブの精神を反映したもので、一読の価値がある。購入希望の方は随時幹事宛申し込み下さい。購読料は1ヵ月300円年間3,600円です。

ニ) 11月の移動例会は例会なのでやりくりをつけて成る可く参加する様に要請があった。

## 6, 各委員会報告

イ) 研修委員会: 加藤委員長より前回の移動例会のアンケートについて話あり、大半が一口コースを希望なので11月13日のみ終日で行うこととする。又出欠報告のハガキの結果は出席25名、保留5名欠席2名ということであった。内容については野口副会長制作になる資料配付の上、訪問先予定、時間など説明があった。

ロ) 地域奉仕委員会: 北原委員長より先日配布のアンケートをもとに目下計画を作成中であり、その大要が出来次第報告するとの由。

ハ) 会員委員会: 大高委員長より新入会員入会についての手続につき説明あり、多くの方のクラブ参加を計る様に会員諸氏のご勧誘をお願いしたい旨要望あり。

ニ) 例会委員会: 松尾委員長よりいずれ(2月頃か)例会出席案内をやめることとするが、それまでの間の連絡網、もう一度配布する旨、又欠席の際は必ず例会委員会まで通知するよう要望あり。

以上

## ◎11月移動例会報告

日時 1997年11月13日 午前7時出発 午後7時解散  
場所 日光東照宮  
出席者 会員 23名

## 〔議事及び旅程〕

生憎当日は午前中雨であったが、午後止む。

全員バスに乗り予定通り駅前を出発した。

## ○議事（バスの中で）

## 1. 会長挨拶

## 2. 幹事挨拶及び報告

イ) 南ロータリークラブで11月26日夜、夜間例会卓話として安達瞳子氏をお迎えして開催するので参加を希望する向きは是非出席して欲しい旨の要請があった。当日は例会として実施するので、その見学にもなるので良いチャンスになると思われる。（当日、当クラブより11名出席、安達氏の講話は「一輪の花、きのう、きょう、あした」と題しビデオを交えての大変面白く、また質の高いお話であった）

ロ) この度各会員用にエルシィに書類用ロッカーを設置した。会員出席の場合には、各自ロッカーより自分の資料を出して参考にしていただきたいし、前回欠席の場合は前回分もそこに格納しておく。

## 3. 委員会報告

地域奉仕委員会：北原委員長より学習サロンについて、その準備状況の報告あり、講演のための講師、セミナーのための助言者及びそのテーマについて11月中旬に概要を設定したい旨の話があった。

研修委員会：加藤委員長より本日の予定などについて説明があった。

## 4. 野口副会長による本日の移動例会に関する講話

同副会長より自らこの日のために作成された小冊子を以て主として次の点につきお話がなされた。

イ) 東照宮のなりたちについて

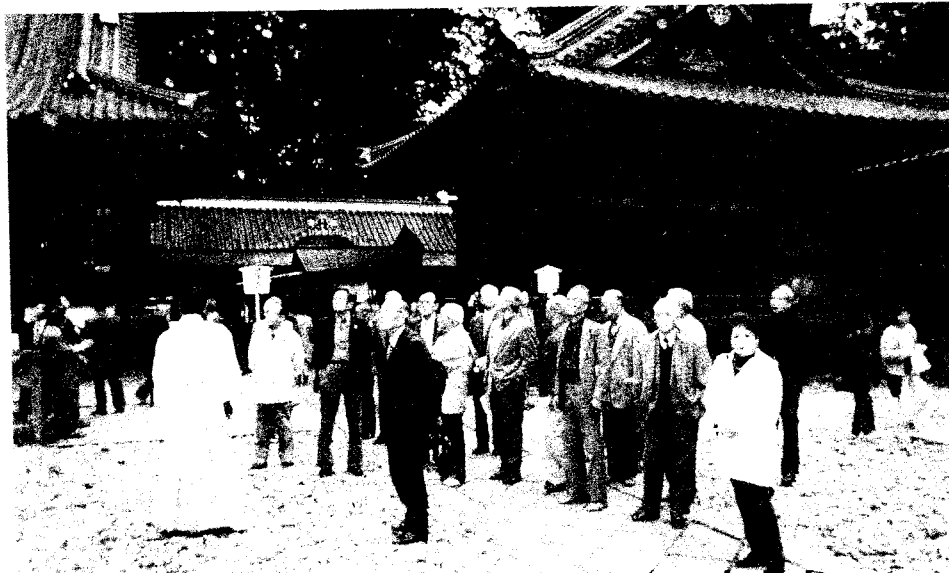
ロ) 日光への遷宮の経緯及びその実行

ハ) 各將軍家と日光

ニ) 日光の文化財

ホ) 日光と八王子との関係（千人同心を中心に）

ヘ) 日光と戌辰戦争（ " " ）



## ○日光東照宮見学

午前は美術館見学、社務所で日本画家大家の各種名画を集蔵、参集殿にて昼食後、東照宮の各建物の見学及び礼拝を行った。いずれの場合も同宮の神官諸氏にご案内戴いた。帰りは皆でカラオケを楽しみつつ家路についた。

### ご注意

1月の例会の際に年会費半年分¥18,000を徴収いたしますので、ご用意をお願いいたします。

### 編集担当より

本号にて今年が終わります。情報をお寄せ戴いた方々、随筆を寄稿された方々大変有り難うございました。

来年もよろしくご協力下さいますようお願いいたします。

年ゆくや 掃かれて白き 土の枯れ

## ドイツアマチュアオーケストラ訪問の旅 (音楽のパートナーを求めて)



立川富美代

八王子フィルハーモニー管弦楽団は14年前に、市民のオーケストラを作ろうと言う人達が数人集まり始まりました。私は何も楽器が出来ないのにマネージだけして欲しいとたのまれまして係わったのが、八王子フィルとの始まりで、以来いっしょに歩んできました。早く大きく、うまくなってほしいとまるで子供を育てる思いです。

今年春後援会の人達から話が出まして“ドイツアマオケと交流演奏会をやろう”ということになりました。音楽の交流をして、遠い将来に八王子の若いひとたちがドイツと交流が持てるような礎になればいいというのが大きな目的です。何故かトントンと話は進み、8月にドイツアマオケ協会会長コンラージ氏が来王、候補楽団を推薦して頂きました。条件は4つ、フル編成のアマチュアオケ、八王子と同じ繊維工業都市、学園都市、将来市として友好関係がもてる、とその条件にあう楽団であることでした。推薦頂いたのが、東ドイツ・ケムニッツ市（陶器で有名なマイセンの隣）西ドイツクレーフェルト（絹織物の産地）、ヴッパータール市（アスピリンのバイエル社のある）の3市5楽団でした。東ドイツ・ケムニッツは復興という言葉がぴったりする位、統合前の傷跡がたくさん残っております。ただ立ち直る姿も力強く古きよきドイツを残すために一生懸命です。八王子市長のメッセージを持参してケムニッツ市長に表敬訪問をしたのですが、市庁舎で楽団とラップのファンファーレで出迎えられ、シャンパンで歓迎レセプション、そのうえザクセン州のニュース番組に出演したり、新聞に写真入りで大きくでたり、私の生涯のなかで思いがけない出来事になりました。600年もの古い市庁舎も殆どが破壊されたのですが、そっくり復元してありました。どの市に行きましても立派なオペラハウスがあり、子供達が大勢楽しんでいました。繊維美術館もどの市にもあり300年前の日本の織物が展示してありました。伝統を大切にしているドイツ気質がよくわかりました。音楽文化は（特にアマオケ）はやはり宗教音楽に支えられています。教会での合唱や、ミサの音楽に始まり教会での演奏会等、宗教とは切り放せないようです。5つの楽団もそれぞれ特徴もありますし、音楽性の高低もまちまちでしたが、市をあげて取り組んでくれました。（ザクセン管弦楽団ケムニッツ）に決定いたしました。（音楽的にはもっと高いところもありましたが）。

どの楽団の人達もきさくで、分かりやすい英語で話しかけてくれたり、家に呼んでくれたり大変フレンドリーです。しかし彼らの胃袋にはちょっとばかり対応に困りました。なにしろ食べ、飲み、半端でない量で、今回の旅は胃袋の戦いであった様に思えます。2年後の9月、30名のドイツの楽団をお迎えします。演奏会だけでなく10日間の生活も面倒をみることになります。プロバスクラブの皆様にもSOSを出してお手伝いをお願いすることが出るかもしれません。その折りには是非お力を貸してください。楽しい日独大合同演奏会にしたいと思っております。お楽しみに。

## ◎12月例会報告

日時 1997年12月11日

場所 エルシー 3F会議室

出席者 会員 43名 来賓 増田 信 南ロータリークラブ元会長

## ○議事

## 1. 会長挨拶

本日新たに多くの新入会員を迎えることは大変喜ばしい。幹事より配布された日本のプロバスクラブの一覧を見ると、当クラブが日本で最も多くの会員を擁する訳で、これから益々我がクラブが発展することとなろう。学習サロンの方も準備が逐次進行中であり、会員一同の一層の活躍を期待したい。

## 2. 来賓紹介

南ロータリークラブ増田元会長が来賓として紹介された。

## 3. 幹事報告

イ) この度5名の会員が入会され本日ご出席の4名の方を後ほどご紹介する。これで会員数は48名となった。

ロ) 先月ご紹介した南ロータリークラブの例会卓話(安達瞳子の「一輪の花、きのう、きょう、あした」)

には11名の当クラブ会員が出席された。大変良いお話であった、今後もこの様な会の際には、是非出席される様お願いしたい。

ハ) 入会の手続きについては出来るだけ早く処理する様に新たに改めた。

ニ) 1月は例年の様に、新年懇親会を兼ねて8日の午後5時より富士森会館にて実施する。ついては本日出欠の是非及び会費について帰りに手続願いたい。

ホ) 別に「日本におけるプロバスクラブ一覧」を配布した。会長が言われた様に我が国最大の会員数となったことは大変喜ばしい。

ヘ) 季刊誌「One two えいと」を紹介、八王子について色々なことが掲載されていて大変楽しい。申込みは幹事まで。

## 4. 新入会員紹介

「吉田信夫」氏 昭和12年9月6日生 大野聖二会員紹介  
八王子市めじろ台2-17-10 (電) 63-4672  
現役時代の略歴：(株)東芝 医用機器事業部勤務  
得意な技能、趣味：ワープロ、油絵、囲碁、ジョギング

「鈴木昭一」氏 昭和2年1月2日生 大野聖二会員紹介  
八王子市横山町2-5 (電) 25-1118  
現役時代の略歴：(社)日本生活科学研究所 京洗会常務理事  
横山町々会長  
得意な技能 : 衣類のシミ抜き

「野口勝久」氏 大正11年9月24日生 増田 信 南ロータリー会員紹介  
八王子市台町2-13-16 (電) 25-3484  
現役時代の略歴：日本セメント常務、アサノパーライト社長  
趣味 : 弓道、囲碁、ゴルフ

「須藤英雄」氏 昭和8年2月24日生 北原満夫会員紹介  
八王子市市安町3-23-17 (電) 46-8640  
現役時代の略歴：旧国鉄にて鉄道に関する総務、営業、経理、資材など各業務を経験。特に八王子駅ビルの建設に従事、その後駅ビル管理会社の監査役を担当。

## 5, 卓話「陸軍幼年学校について」 石井 充会員

終戦前わずかな期間、わが八王子に存在した東京陸軍幼年学校について、そのそもその始め（明治3年）から終戦によって廃校となる迄の間、時代の流れの中でどんな変化をとげて来たかについて説明されたもの、そしてこの幼年学校も時代の枠外では決してあり得ず、経済、国の動向の中である時は縮小され又ある時は拡大され最後に廃校という運命をたどった。しかしその中の教育の実体は決して頑固な軍国主義的ではなく、むしろリベラルな風潮があったとはまことに意外なことであった。この様な学校が八王子にあったとは今から思えば夢の様な事である。

## 6, 委員会報告

イ, 研修委員会：加藤委員長より先日の移動例会についてその結果と会計報告がなされた。

ロ, 情報委員会：平原委員長よりプロバスだよりについて協力依頼があった。

ハ, 会員委員会：大高委員長より入会手続について期間短縮のため手続変更の報告がなされた。

ニ, 例会委員会：松尾委員長より書類入れロッカー新設のここと新年懇親会につき説明がなされた。

ホ, 地域奉仕委員会：北原委員長より学習サロンの計画及び各委員会毎の担当業務について説明がなされた。

以上



## 松井須磨子は歌がうまかったか

藤野 豊

この頃は、ワインの第七ブームだという。カルチャー教室のワイン講座は、若い奥様からOL, 年配のおじさま等で、一杯である。圧巻はテイスティングで、日本酒のきき酒よりもはるかに華やいだ雰囲気だ。ただし、毎回テイスティングをやるわけではなく、二ヶ月に一度くらいで、あとは地味な勉強だが、目的はワインの味見にあるので、受講者にとっても力が入ろうというものである。テイスティングの日は、生徒のうちの代表者数名がワインの買い出しに出かける。銘柄は、先生が選ぶものと、生徒が選ぶものがあり、ワイワイガヤガヤとやる。

私は現在同じ教室で、他にポピュラー・ミュージックの講座も受講している。この先生は、実に教育熱心で、CDからレコード、それにビデオまで用意周到に準備してくれる。先日は、松井須磨子の歌う「カチューシャのうた」を古いレコードで聞かせてくれた。しかし、この教室、なにか盛り上がり欠ける。なぜだろうか。生徒が質問したり、意見を言ったりする場がないのが、一番大きい原因のようだ。もっとも、先生に言わせると、先生は生徒に伝えたいことが山ほどあるので、生徒の、ときには下らない質問に割く時間があれば、何程か有益な知識を生徒に伝達することができるだろうとの思いがある。

しかしだ、カルチャーセンターで生徒に伝えることができる知識の分量は、しょせん知れたもの。いや、大学の授業だって同じこと。授業によって、生徒が興味を持つきっかけを掴めばよい。もっと知りたいという熱心な生徒がいれば、文献の標題を教えてやればよい。生徒同士でワイワイガヤガヤと過ごす時間は、決して無駄ではない。レコードを聞いて、松井須磨子にしては歌は下手だ、という感想が出てよい。そこで、先生が、須磨子はその肉体的演技力で世間をあっと言わせたのであって、歌は下手だったと教えればよい。



## ◎1月例会報告

日 時 1998年1月8日

場 所 富士森会館 出席者 会員 41名

## ○議事

## 1. 会長挨拶

今年是不景気な年となろうが今こそ明るい将来をめざして生きて行こう。あのバブルの時代浮かれていない人はそうはいなかった。今はその反対の時代、明るく楽しく自信をもって行動し、我々のプロバスクラブを更に発展させよう。

## 2. 委員会報告

イ. 情報委員会：学習サロンについて市教育委員会の後援をいただいたこと、市の広報掲載（2/1号）ショッパー掲載（1/23号）及び読売、朝日に掲載依頼したこと（読売1/15号）等報告。

ロ. 会員委員会：新入会員入会について手続を改め、従来より早く処理したいので推薦書を例会時に提出されたいとの報告。

ハ. 研修委員会：学習サロンのセミナー司会について別に配布した表の通り決定したいので意見のある方は寄せられたい旨報告。

ニ. 例会委員会：例会出席につき改めて本年3月より、その出欠の例会各委員よりの事前問い合わせを控えることとするので、それ以降各会員諸氏は責任をもって各自連絡願いたい旨お願いする。

ホ. 地域奉仕委員会：学習サロンのためのプログラムが完成したので会員諸氏にも配布し又前回出席者にも送る又次の点留意ありたし。

1) 口コミでの会員募集よろしく、その際住所、氏名それに入会金の受領が望ましい。

2) 助言者、司会者の日程確保を願いたい。

3) セミナーの中味の要約したものを来月の例会の際、加藤委員長にお渡し下さい。

4) 次回に各委員会メンバーの役割分担について発表する。

## 3. 幹事報告

イ. この寒さ故、具合の悪い方が居られる様で健康には呉々も各自ご留意下さい。

ロ. 本日は南ロータリークラブは役員会で来賓出席不可能故よろしくとの連絡ありし由。

ハ. 本日は半年分の会費徴収日につき各自入金方お願いしたい。

以上の各報告のあと新年会に移った。新年会は大野前会長の「騙されても怒れない手品」の実演とビンゴゲームで盛り上がり、終了後折からの雪の中を各自家路についた。



## ★映画上映のご案内

題名：『地球交響曲（ガイヤ・シンフォニー）第2番』

日時：3月14日（土）午後1時半開場

場所：いちょうホール 小ホール

主催：市教育委員会

料金：入場無料

地球と人間とのかかわりを考えるタイムリーな映画で大変美しい画像に感動いたします。地球をとりまく宇宙、海、野山、そして宗教を越えた神と人とのかかわりの四つのテーマをオムニバスにしたすばらしい映画です。お時間のある方は是非一見を！

裏面に続く



## 昨今の投手事情

岩岡茂之

今年も又キャンプが始まり、野球の季節が近づいています。過去に於ける野球界の傾向は、精神面を重視し、技術、体力に加えて、気力によるプレーが要求されてきました。その代表的な例が投手に関してみれば、早慶戦での早大安藤投手の4連投、日本シリーズでの西鉄稲尾投手、南海杉浦投手の3~4連投などで、いずれもチームは優勝しました。最近の野球は近代的、合理化が進み、特に投手は先発、中継ぎ、抑えとその分担が明確化し何人かが登板する試合が多くなり、一人で完投する例は、極端に少なくなって来ています。

プロの審判員だったH氏は、「昔の投手と比較して、投手の技術は進歩するより退歩しているのではないか?、その例は、四球押し出しの数が多くなった点で過去には見られなかった現象である。現役当時、球審を勤めて、満塁になった時の緊張感は昔には経験しなかったものだ。」と語っています。

例の少なかった「押し出し」の増加は試合数の増加、打撃技術の向上などの理由も考えられますが、合理化による分業化が投手の技術と心理にどんな影響を及ぼしているかが問題点で、一概に結論は出せませんが、今後の成り行きを注目したいと思います。

## ◎2月例会報告

日 時 1998年2月12日  
場 所 エルシィ3F 会議室  
出席者 会員 34名 来賓 酢屋南ロータリークラブ副会長  
○議事

## 1. 会長挨拶

寒い日が続きますがいよいよ来月より本クラブ最大の行事である生涯学習サロンが始まります、本日はその議題を中心に議事を進めてゆくので、どうぞ宜しくご協力下さい。

## 2. 酢屋来賓御挨拶

節分も終わり、いよいよ春、皆楽しく日を送りましょう。映画評論家の長老、淀川長治氏曰く「明るく、楽しく、美しく」そして「他人歓迎、苦勞来い来い」と、その心掛けで日を過ごそうではありませんか。

## 3. 新入会員紹介

『石田雅巳』氏 昭和6年11月11日生 大野聖二会員紹介  
相模原市東林間6-21-16 (電) 0427-43-8833  
現役時代の略歴：産婦人科医師、八王子保健所々長  
現在：医療法人 社団光生会老人保健施設ハートランドぐらんぱ ぐらんま施設長他  
趣味：音楽（オペラ、バレエ）映画、演劇鑑賞、合唱

## 4. 幹事報告

イ. 南ロータリークラブにて平原会員が卓話を行った旨報告、大変評判が良かったので今後は順次本クラブ会員の出席が要請されるかも知れません、その節はよろしく願いしたい。  
ロ. 福岡のロータリークラブ（宗像）より同地においてもプロバスクラブを作りたいので、そのための協力要請があり、出来るだけ協力することとしたい。  
ハ. 市教育委員会主催の映画会「地球交響曲」について都合のつく方は出席されてはとのお誘い。  
（先月「プロバスだより」既報、3月14日 pm 1:30～ いちょうホール、小ホールにて）

## 5. 各委員長報告

情 報：学習サロンについての掲載紙、実施報告  
例 会：例会の事前出席確認、来月より各自自主的に出欠報告されたい旨要請  
研 修：学習サロン、セミナーの内容、開講式迄にまとめる旨報告  
地域奉仕：学習サロンについて、現在迄の申込者は56名、又開講式、野外セミナーなどにつきその手順を説明。全会一致して実施するために会員各位みんなが協力して盛り上げてもらいたい要望あり。

## 6. 閉会の辞

立川幹事より学習サロンも始まること故、皆さんも風邪を引かない様に元気でお過ごし下さいとの挨拶あり。



## ★コンサートのお知らせ

「モーツァルト・レクイエム演奏会」

出 演：八王子フィルハーモニー管弦楽団、合唱団  
(S) 田中三佐代 (A) 阪口直子 (T) 経種康彦 (B) 泉 良平

指 揮：寺島康朗

日 時：4月19日 1:30pm開場 2:00pm開演

場 所：八王子市民会館ホール

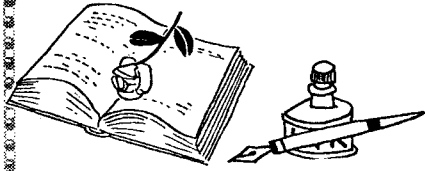
入場料： 1,000円（全席自由）

曲 目：W.A.モーツァルト「レクイエム」

交響曲第35番「ハフナー」

歌劇「魔笛」序曲

裏面に続く



## 会津八一の日記より

石井 充

「諸氏の見舞品、手拭、単衣、茶、タオル、石鹼、葱、朝鮮人蔘、万年筆、茶碗、皿、「唐詩三百首」紙、封筒、切手貼りたるハガキ、硯、墨、盆、スプーン、重箱、シャモジ、ノート、インク、塵紙、卵一個、パインアップル」とあります。判じ物のようですが、高名な学者であり歌人でもあった会津八一の日記の一節です。昭和20年4月13日深更、彼はB29の空襲により罹災しました。日記には「殆ど一物を留めず」とあります。翌14日駆けつけた、知人、弟子の見舞品が以上で全部でした。次の日には、牛乳、靴墨まで登場しますが、当時の日本人の苛烈な日常生活が読み取れると思います。

それにしても、葱、卵一個、シャモジ、が火事見舞の品として記録され、『切手貼りたるハガキ』も有り難い頂戴物だった、あの1945年とは、一体どういう時代だったのでしょうか。戦中日記にも、いろいろあり、それぞれが書き手の性格を表して興味津々ですが、このあと8月15日終戦の日の会津八一の記述は、どう読むべきでしょうか。

「盆の酒さらに一合配給を受く。二級酒なり。」とあるのみで、敗戦のことは一語もないのです。悲しみの余りの深さを、彼は筆にする事すら出来なかったのでしょうか。

昨年は高松宮日記も刊行され、私の日記狂いも、まだしばらくは続きそうです。

## ◎3月例会報告

日時 1998年3月12日  
場所 エルシィ3F 会議室  
出席者 会員 41名 来賓 酢屋南ロータリークラブ副会長

## ○議事

## 1. 会長挨拶

最近暗い話題が多いが、同時にパラリンピックでの実績など明るい話も多い。出来るだけ明るい面を見て元気で時を過ごしましょう。

## 2. 来賓紹介

## 3. 幹事報告

イ. いよいよ本日より生涯学習サロンが始まる。既に56名の方の参加も決まったし又野外セミナーも80名の方々が参加の予定である。皆一致協力してサロンが成功する様に努力して頂きたい。

ロ. 前号でお知らせの様に八王子フィル管弦楽団と合唱団による「モーツァルト・レクイエム・コンサート」が4月19日市民会館にて開かれる。地元のオケ、コーラスによる公演なので出来るだけ多くの方のお出かけをお願いしたい。希望者は幹事までどうぞ。

## 4. 委員会報告

研修：5月の例会は野外セミナーを以て代えることとする。

尚その会費は次回セミナーの節々3,000を徴収します。

地域奉仕：「セミナー参加者リスト」を配布したので、各人はこれに沿って行動して欲しい。尚「知られざるスイス」「古賀政男と服部良一」はサロン出席者の参加希望が多いため会員希望者は他のセミナーへ割りふった。両講座についてはいずれ卓話でカバーする予定。

例会終了後学習サロンの第一日目に移った。

## 音を楽しむ

大高秀夫

今から10年も前のことだが、八王子フィルハーモニー管弦楽団で「歌の輪コンサート」を企画し、コーラスのメンバーを募集していることを知り、私もコーラスの一員として参加させて頂いた。最後の曲を歌い終って会場のお客様から拍手を頂いた時、何とも言いがたい感動が体中に広がり、一挙に合唱の魅力に取り付かれてしまった。

その感動が覚めぬ内にと思い、市の主催する合唱団に飛び込み、年末の「第九」に初挑戦してみた。この2回の合唱は、そのコンサートのために募集した合唱団で、コンサートが終わると解散してしまっただけで、折角見つけた合唱の楽しみがこれで終わってしまうのは残念で、これからも合唱を続けるには、自分で始めなければと思ひ、「第九」の時に知り合った仲間を誘い男性コーラスを結成した。たまたま7人集まったので七つ星に因んで「コール・プレアデス」（昴の学名）と名付けて現在も続けている。

次頁に続く

平成4年に、八王子フィルハーモニー管弦楽団が東京電力（株）・多摩支店の後援で「TEPCO市民の第九コンサート」を行うことになり、合唱のメンバーを募集することになった。「歌の輪」の時にお世話になった管弦楽団の（故）石井団長から合唱団を作るので手伝って欲しいとのお話があり、団員は一般市民から公募し、立川団長のもと、私が事務局を担当しブレイズのメンバーが運営委員となって発足したのが八王子フィルハーモニー合唱団である。

昨年4月に合唱団創立5周年を迎えたのを機に、管弦楽団から「モーツアルトのレクイエム」をやってみようとの要請があり、合唱団として、またモーツアルトの作品としても難曲中の難曲とされている「レクイエム」をアマチュアの合唱団が挑戦することになった。練習を始めてみてその難しさを痛感し、一時はものになるのかと心配もしたが練習に練習を重ね、最近になってやっと「レクイエム」らしくなって来た。だが、この1年間は私にとってなんとも苦しい1年だった。そしていよいよ4月19日（日）に本番を迎えようとしている。なんとか無事に終わって欲しいと願うばかりだ。

また、団員120名の組織を運営していくことはとても難しい。会社ならば立て分けがはっきりしているので上司の命令として統率がとれるが、合唱団のような趣味の組織では全員が横一列の立場にあるので、なにかと問題が多くて大変だ。音楽とは読んで字の通り「音を楽しむ」と言われている。全くその通りだと私も思っている。勿論楽しみも沢山あるが、むしろ苦しみの方が多く今の私には「音を苦しむ」でいるのが現状のようだ。しかし、苦しみながらも一つのイベントが無事に終わった時の感激は何とも言えない素晴らしいもので、その喜びが長い間の苦しみを一瞬にして楽しさに変えてくれるから不思議だ。そして、この不思議な瞬間が忘れずにもう6年も続けている。



## ◎4月例会報告

日 時 1998年4月9日  
場 所 エルシィ3F 会議室  
出席者 会員 41名 来賓 酢屋南ロータリークラブ副会長

## ○議事

## 1.会長挨拶

気候不順の上に政治経済共に色々と問題が続いている。その中で経済の言葉として「真水」ということがよく言われる。実質上の経済的寄与を意味する言葉だが、これから愈々後半に入るわが学習サロンについては、我々皆が「真水」となって有終の美を飾ろうではないか、会員一同の一層のご努力を期待したい

## 2.来賓紹介

## 3.幹事報告

イ.学習サロンの行事の一つである野外セミナーの富士美術館訪問については村内美術館と同様、同館のご協力で地域サービスの一環として無料となることが決定した。会員の皆さんのご協力で実り多い野外セミナーとしたい。

ロ.6月で今年度も終了するが、本年も6月例会は夜間の会合とすべく準備する予定である。

## 4.各委員会報告

地域奉仕：学習サロンはあと2回で今日から後半戦に入る。最後の野外セミナーは従来計画を都合により変更し、村内（含食事）～富士～子供科学館の行程となる。

今後会員諸氏の一層のご協力をお願いしたい。

## 5.その他

配布された先年発刊の飯田賢一氏著「八王子技術文化ノート」について大野（聖）会員より紹介がなされた。なかなか良くまとまった本であり希望の方には2割引きでおわけすることなので御紹介を願いたい旨要望がなされた。

◎毎月の例会について無断欠席は減っているが、今後共各位は欠席の際はその週の火曜日までにご自身の責任で松尾例会委員長迄（t e l / f a x 0 4 2 6 - 2 2 - 1 0 6 9）ご連絡下さい。



## ★コンサートのお知らせ

「田中三佐代ソプラノ・リサイタル」

田中さんの略歴：八王子生まれで市在住、東京芸大大学院オペラ科修了

東京文化会館公演の「ワルキューレ」で二期会デビュー。同会館での「第9」のソプラノ・ソロ、プラハでのドボルザーク「テ・デウム」のソプラノ・ソロなど目下気鋭のソプラノとして活躍中。先日の八王子フィル合唱団の「モーツァルト・レクイエム演奏会」でもソプラノ・ソロとして出演。

裏面に続く

日 時：6月25日（木）午後7時開演

場 所：いちようホール（小ホール）

曲 目：日本歌曲（椰子の実他）、オペラ・アリア（「或る晴れた日に」他）

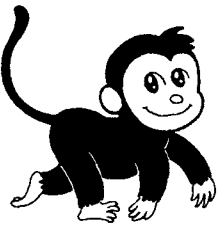
モーツァルト「フィガロの結婚」ハイライト

伴 奏：山岸茂人

友情出演：宮本益光（バリトン）、林満理子（ソプラノ）

入場料：¥2,000

お申し込みは立川幹事までどうぞ



## さる山の可愛い住人たち に乾杯

松尾 信一郎

朝9時、客の居ない動物園の動物たちはすこぶる機嫌が良い。特に日本ざるはお互いに「毛づくろい」（のみ取りと言われているが、実は彼等のコミュニケーションの方法）をし平和な時間を過ごして居る。おはよう！勝手に声をかけて私の一日が始まる。多摩動物公園でこんなことを始めてもう10年近くなるだろうか、なぜだろう？ 時に自問自答することもある。なぜ一日見ているも飽きないのだろう？ 来園者も同じ気持ちと見えて滞在の時間は驚くほど長い。それは彼等の生活が驚くほど人間の生活に近いからに違いない。

日本ざるは、元来群れて生活している動物だが、自我は比較的はっきりしている、それがなんらかのメリットの為に共同生活を続ける、そこに繰り広げられる社会生活、例えば お互いの分を守り、いかに争いを避け平和に暮らすために努力しているか、人間生活の縮図をみているようだ、それが人を引き付けるのかもしれない。動物は群れていると暗黙のうちに固体間の優劣が生じる。そしてお互いに頼り頼られる関係を作り平和を維持しているようだ。昔、余りにも整然とした“さる社会”を見た学者が、これは人間社会と同じように、さる社会にもそれぞれに役割があり、それを果たすことによって社会が構成され、その頂点に立つ大きな“雄ざる”をボスと呼び、他の群れはその支配下にあると言う解釈を下したことがある、今はだれもそうは言わない。動物園でも大きな“雄ざる”が他を支配する光景を見たことはない。周囲に争いが生じた時など、自分より大きな さる を頼り、当てにする光景は見ることはあるが、これはあくまでも自分の意思であって強制されるものではない。その証拠に、争いが終わり仲良し同士が毛づくろいを始めた時、用事の終わった“雄ざる”がぼつんと一人取り残され、所在無げに座っている光景は、まさに「亭主元気で留守が良い」だ。怒りもせずじっと耐えている姿は世のお父さんの共感を呼ぶには十分すぎる光景だ。これも母系社会のなせる結果だろう！ いずれにしても、彼等は自我を大事に、必要なときにはお互いに頼り頼られ、なるべく楽をし、平和を愛し、平穏を願って暮らす動物だとすれば、これも又人間そっくり、欲望を持つ人間の方が少し悪るかな、そんな想像をしながら さる 達を見ていれば一日は短い。そろそろ風も冷たくなって来たので引き上げの時間も間近のようだ、正直のところ、さる の気持ちは さる でなければ解らない それが10年近くも動物園に通わせる理由かな、そんなことを考えるこの頃である。



日 時：6月25日（木）午後7時開演

場 所：いちようホール（小ホール）

曲 目：日本歌曲（椰子の実他）、オペラ・アリア（「或る晴れた日に」他）

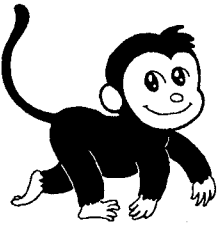
モーツァルト「フィガロの結婚」ハイライト

伴 奏：山岸茂人

友情出演：宮本益光（バリトン）、林満理子（ソプラノ）

入場料：¥2,000

お申し込みは立川幹事までどうぞ



## さる山の可愛い住人たち に乾杯

松尾 信一郎

朝9時、客の居ない動物園の動物たちはすこぶる機嫌が良い。特に日本ざるはお互いに「毛づくろい」（のみ取りと言われているが、実は彼等のコミュニケーションの方法）をし平和な時間を過ごして居る。おはよう！勝手に声をかけて私の一日が始まる。多摩動物公園でこんなことを始めてもう10年近くなるだろうか、なぜだろう？ 時に自問自答することもある。なぜ一日見ているも飽きないのだろう？ 来園者も同じ気持ちと見えて滞在の時間は驚くほど長い。それは彼等の生活が驚くほど人間の生活に近いからに違いない。

日本ざるは、元来群れて生活している動物だが、自我は比較的はっきりしている、それがなんらかのメリットの為に共同生活を続ける、そこに繰り広げられる社会生活、例えば お互いの分を守り、いかに争いを避け平和に暮らすために努力しているか、人間生活の縮図をみているようだ、それが人を引き付けるのかもしれない。動物は群れていると暗黙のうちに固体間の優劣が生じる。そしてお互いに頼り頼られる関係を作り平和を維持しているようだ。昔、余りにも整然とした“さる社会”を見た学者が、これは人間社会と同じように、さる社会にもそれぞれに役割があり、それを果たすことによって社会が構成され、その頂点に立つ大きな“雄ざる”をボスと呼び、他の群れはその支配下にあると言う解釈を下したことがある、今はだれもそうは言わない。動物園でも大きな“雄ざる”が他を支配する光景を見たことはない。周囲に争いが生じた時など、自分より大きな さる を頼り、当てにする光景は見ることはあるが、これはあくまでも自分の意思であって強制されるものではない。その証拠に、争いが終わり仲良し同士が毛づくろいを始めた時、用事の終わった“雄ざる”がぼつんと一人取り残され、所在無げに座っている光景は、まさに「亭主元気で留守が良い」だ。怒りもせずじっと耐えている姿は世のお父さんの共感を呼ぶには十分すぎる光景だ。これも母系社会のなせる結果だろう！ いずれにしても、彼等は自我を大事に、必要なときにはお互いに頼り頼られ、なるべく楽をし、平和を愛し、平穏を願って暮らす動物だとすれば、これも又人間そっくり、欲望を持つ人間の方が少し悪るかな、そんな想像をしながら さる 達を見ていけば一日は短い。そろそろ風も冷たくなって来たので引き上げの時間も間近のようだ、正直のところ、さる の気持ちは さる でなければ解らない それが10年近くも動物園に通わせる理由かな、そんなことを考えるこの頃である。